

GW ガラス・ウィンドウ・ミラー

作業上の注意	2	・ システム概要	18
・ SRS エアバッグ、プリテンショナーシート		・ 構成部品取付位置	18
ベルト付き車に関する注意	2	・ 回路図	19
・ 接着剤及びプライマーの取扱注意	2	・ パワーウィンドーメインスイッチ入出力信号基準値	19
準備品	3	・ 各席パワーウィンドースイッチ入出力信号基準値	21
・ 工具	3	・ 現象別故障診断早見表	22
・ 溶剤	3	・ パワーウィンドーメインスイッチ経路 1 点検	23
・ 油脂類	3	・ 運転席パワーウィンドーモーター経路点検	24
フロントウィンドシールドガラス・ウィンドシールドモール	4	・ パワーウィンドーメインスイッチ経路 2 点検	25
・ 取り外し、取り付け	4	・ 各席（助手席、後席左右）パワーウィンドースイッチ経路点検	25
ワイパーデアイサー	7	・ リミットスイッチ経路点検	26
・ システム概要	7	・ 運転席ドアスイッチ経路点検	27
・ 作動説明	7	・ エンコーダ経路点検	28
・ 構成部品取付位置	8	フロントドアガラス&レギュレーター	29
・ 回路図	8	・ 取り外し、取り付け	29
・ ワイパーデアイサースイッチ入出力信号基準値	8	リヤドアガラス&レギュレーター	31
サイドウィンドーガラス	10	・ 取り外し、取り付け	31
・ 取り外し、取り付け	10	ドアミラー	34
バックドアウィンドーガラス	12	・ 電動格納ドアミラーの取り扱い上の注意	34
・ 取り外し、取り付け	12	・ 回路図	35
バックドアウィンドーデフォッガー	15	・ 取り外し、取り付け	36
・ システム概要	15	・ 分解、組み立て	37
・ 構成部品取付位置	15	サイドアンダーミラー	39
・ 回路図	16	・ 取り外し、取り付け	39
・ 回路図（寒冷地仕様車）	16	インサイドミラー	40
・ メーターコントロールユニット入出力信号基準値	17	・ 取り外し、取り付け	40
・ デフォッガータイマーユニット入出力信号基準値	17		
パワーウィンドーシステム	18		

作業上の注意

PFP:00001

SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルト付き車に関する注意

JIS006QM

- 警告：**・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトシステム関連の構成部品脱着及びハーネス脱着は、キースイッチ OFF で、バッテリーマイナス端子を外してから 3 分以上放置後行うこと。（エアバッグセンサーユニット内の補助電源回路に蓄えられた電気を放電させるため。）
- ・ 構成部品の脱着に、エアツール及び電動ツール等は使用しないこと。
 - ・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトシステム用のハーネスは、ハンダ等による修理はしないこと。また、ハーネスの噛み込み及び他部品との干渉に十分注意すること。
 - ・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルト回路及び単品状態での点検をするときはサーキットテスター等の電気テスターを使用しないこと。（テスターの微電流による作動防止）
 - ・ エアバッグモジュール及びプリテンショナーシートベルトのコネクタに、ドライバー等の異物の差し込みはしないこと。（静電気による作動防止）
 - ・ SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトには、識別として黄色のハーネスコネクタを使用し、他のハーネスとの区別をしている。
 - ・ 安全に整備作業を行うため、「SB シートベルト」及び「SRS SRS エアバッグ」を参照すること。

接着剤及びプライマーの取扱注意

JIS0018E

- ・ 接着剤は製造日より 6 カ月以内のものを使用すること。
- ・ プライマー及び接着剤は冷暗場所に保管すること。
- ・ プライマー及び接着剤は使用直前に開封すること。また、残りは再使用しないこと。
- ・ プライマーは使用前に必ず容器を振り、かくはんすること。また、浮遊物などがある場合は使用しないこと。
- ・ プライマー及び接着剤が皮膚に付着した場合は、ホワイトガソリンで拭き取り、石けんで洗うこと。
- ・ プライマー及び接着剤の使用に関しては、上記以外に取扱説明書の注意事項を必ず守ること。

準備品

準備品 工具

PFP:00002

JIS0018F

A

B

C

D

E

F

G

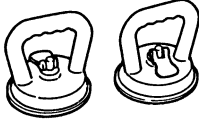
H

GW

J

K

L

名称	用途
吸引ゴム盤 ST0880  ZZA0976D	ウインドシールドガラス、 サイドウインドーガラス、 バックドアウインドーガラス脱着

溶剤

JIS0018G

名称	用途	備考
両面テープ離けい剤 住友 3M クリーナー 30	両面テープ除去	一般事務用品
プライマー	塗装用プライマー：塗装面用 ガラス用プライマー：ガラス用	

油脂類

JIS0018H

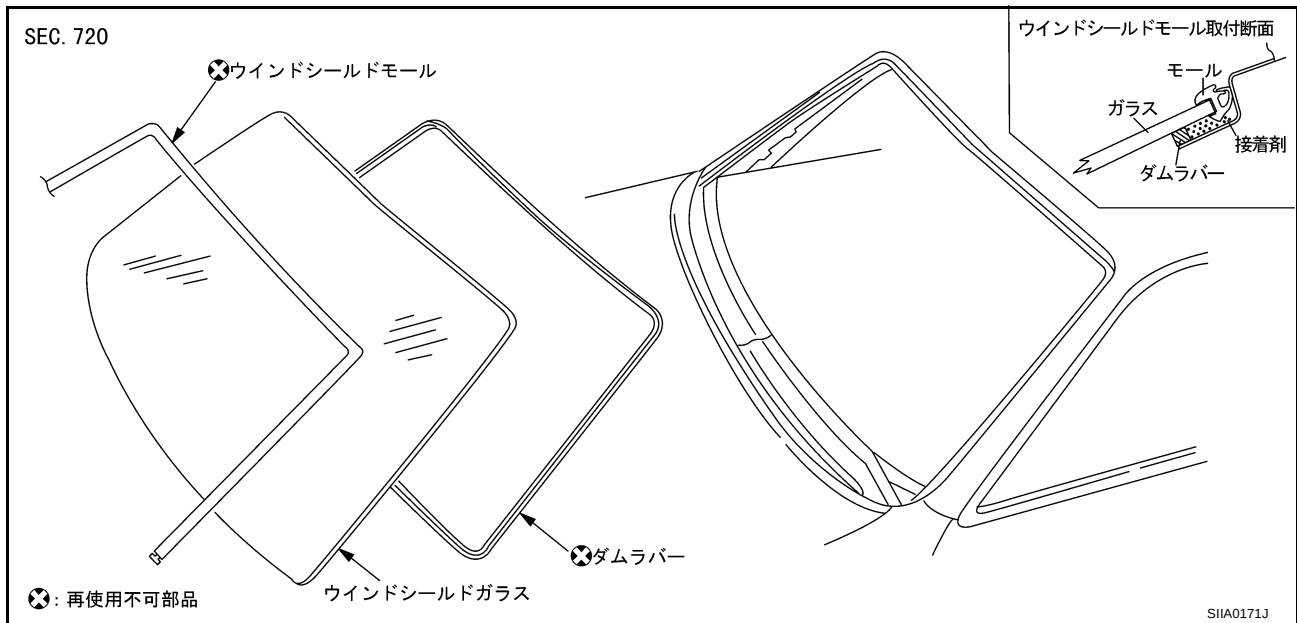
グリース ダウコーニングモリコート SK623	フロントドアレギュレーター部及びガイドレール しゅう 動部塗布 リヤドアレギュレーター部及びガイドレールしゅう 動部塗布	ダウコーニングアジア（株） (TEL 03-3287-1155)
-------------------------------	---	-------------------------------------

フロントウインドシールドガラス・ウインドシールドモール

PFp:72700

取り外し、取り付け

JIS0018I



取り外し

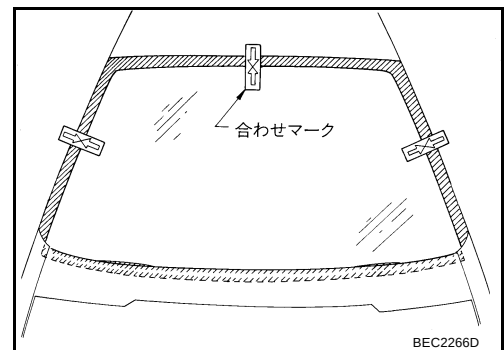
1. フロントピラーガーニッシュ及びヘッドライニングを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-27 ページ) 及び「[取り外し、取り付け](#)」(EI-31 ページ) を参照。
2. カウルトップカバーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-12 ページ) を参照。
3. ワイパーデアイサーのハーネスコネクタ及びグロメットを取り外す。(寒冷地仕様車)
4. ウインドシールドガラス周辺に保護テープを貼り、塗膜の傷付け防止を図る。
5. カッターナイフをガラスに沿わせながら、モール表面を切る。

6. ボディーフランジ部に残ったモールをプライヤー等ですべて引き抜きガラス接着面から完全に取り除く。
 - ・ ウインドシールドガラスを再使用する場合、ボディーとガラスに合わせマークを付ける。

7. 接着剤を切断する。

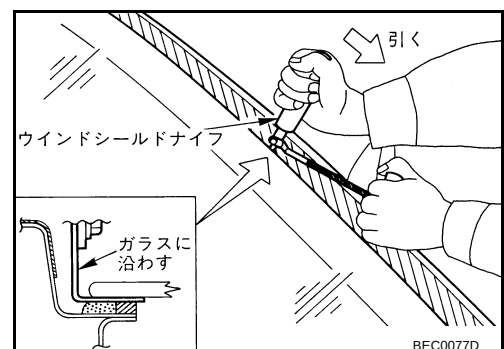
- ・ 使用工具により、下記の要領で行う。

注意: ウインドシールドガラス再使用時は、ウインドシールドナイフは使用しないこと。(ガラスに傷が付くため)



- a. ウインドシールドナイフを使用する場合 (ガラス交換時)

- i. ウインドシールドナイフのすべりを良くするため、ボディー側の接着部全周に石けん水を塗布する。
- ii. 接着部にウインドシールドナイフを差し込み、刃先をガラスと平行に沿わせて引き、接着剤を切断する。



フロントウインドシールドガラス・ウインドシールドモール

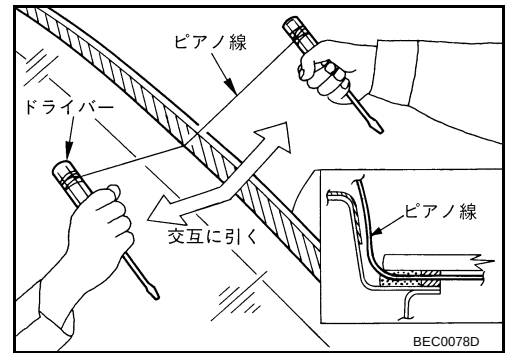
b. ピアノ線を使用する場合（ガラス再使用時）

- i. 室内からガラスの接着部にキリ又はカッターなどで貫通穴を開ける。
- ii. 上記の貫通穴に室内からピアノ線を通し両端をドライバー等に結ぶ。
- iii. 車両の内と外でガラスに沿ってピアノ線を交互に引き、接着剤を切断する。

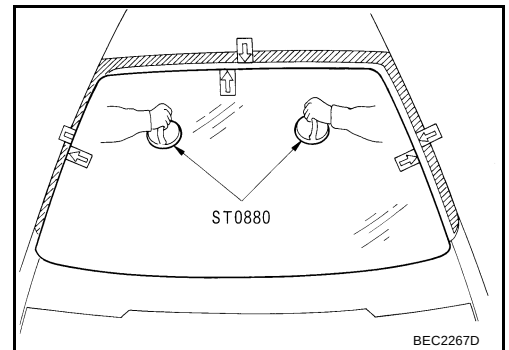
注意：・ピアノ線をガラス端部に強く接触させないこと。

・ワイパーデアイサーのリード線を損傷しないように注意すること。

・ピアノ線をインストパネル等の樹脂部に接触させないように銅板等を置くこと。



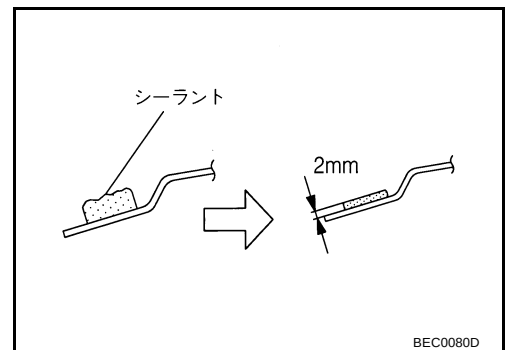
8. 吸引ゴム盤（特殊工具）相当品を使ってガラスを車両から外す。



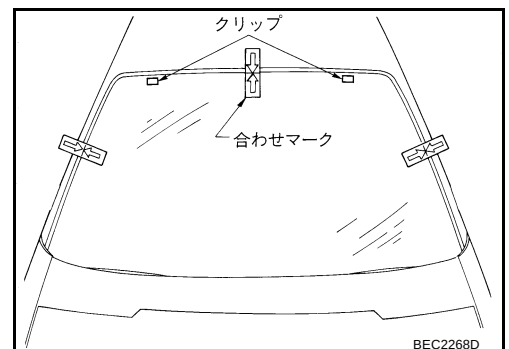
取り付け

1. 車両側の残片をナイフ等で厚さ 2mm 位に全周を平滑に削り取る。

注意： ボディー側の接着面に傷が付いた場合は必ず 2 液型ウレタン塗料で補修し、ラッカー塗料は使用しないこと。



2. クリップをパネル穴に合わせる。
3. 新品ガラスの取り付けは、ガラスを車両に乗せ、合わせマークをボディーとガラスに付けた後、再びガラスを取り外す。
4. 再使用ガラスはガラスに残っている残片をナイフ等で平滑に削り取る。
5. ガラスの接着面と周辺をホワイトガソリンで清掃する。



フロントウインドシールドガラス・ウインドシールドモール

6. ダムラバーを図の位置でガラス下辺中央を起点として、ガラス全周に貼り付ける。

7. プライマーを塗布する。

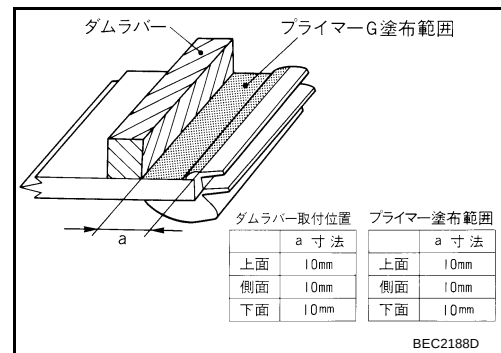
参考：プライマーは、ガラスと塗装面との接着力を強力にする重要な働きをする。

注意：プライマーは 2 種類あるため、その使用方法を絶対に間違えないこと。

塗装用プライマー…塗装面用

ガラス用プライマー…ガラス用

- ・ガラス用プライマーを図の指示にしたがってガラス全周に塗布する。



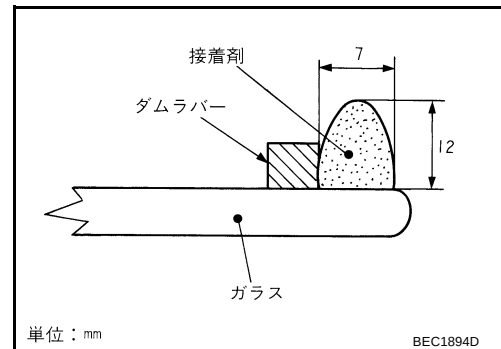
8. 車両側接着面に塗装用プライマーを塗布する。

注意：・塗装用プライマーが接着面以外の塗面に付着したり、はみ出した場合は素早くホワイトガソリンで拭き取ること。

- ・塗装用プライマーがインストルメントパネルに付着しないよう銅板等を置くこと。

9. プライマー塗布後、取扱説明書に指定された時間内で図の要領でガラス全周に接着剤を塗布する。

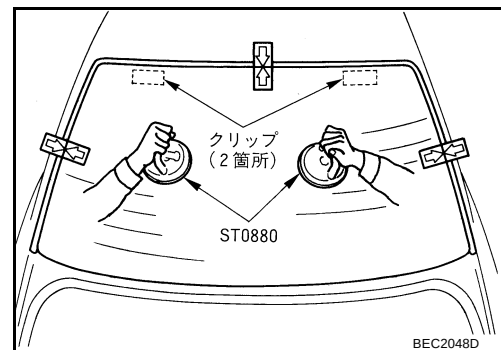
- ・接着剤のノズル先端をカットし、開栓してからシーラントガンにセットする。



10. ガラスに吸引ゴム盤（特殊工具）相当品をセットした後、ボディとガラスの合わせマークを合わせ車両に取り付ける。

11. ガラス全面を軽く押し、完全に密着させる。

12. ヘラなどで接着剤のはみ出しや不足を修正し平滑にする。

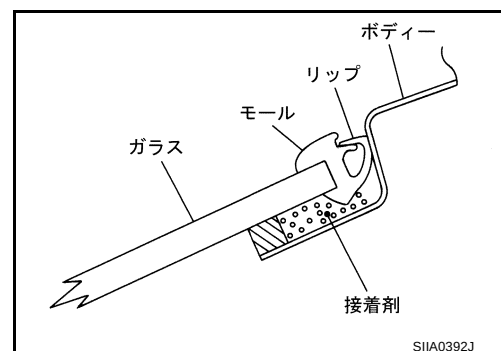


13. ウインドシールドモールを位置決めし、図のように接着する。

注意：・ウインドシールドモールの取付は、接着剤が硬化する前に必ず行うこと。

- ・ウインドシールドモール取付時、リップの落ち込み、波打ち等の異常なきこと。

- ・ガラス装着後、接着剤が硬化するまでドアガラスを開けておくこと。また、走行させないこと。



14. 雨漏れを点検する。

15. 保護テープをはがす。

16. 取り外した部品を取り付ける。

ワイパーデアイサー

PFP:25358

システム概要

JIS0018J

- ・ ウインドシールドガラス下部及び運転席ピラー側に熱線を配置した。
- ・ デアイサースイッチは自動戻りタイプを採用した。
- ・ ステアリングコラム左側に取り付けられたワイパーデアイサースイッチを操作することにより、ワイパーブレードとガラスの氷結を防止する。

機能説明

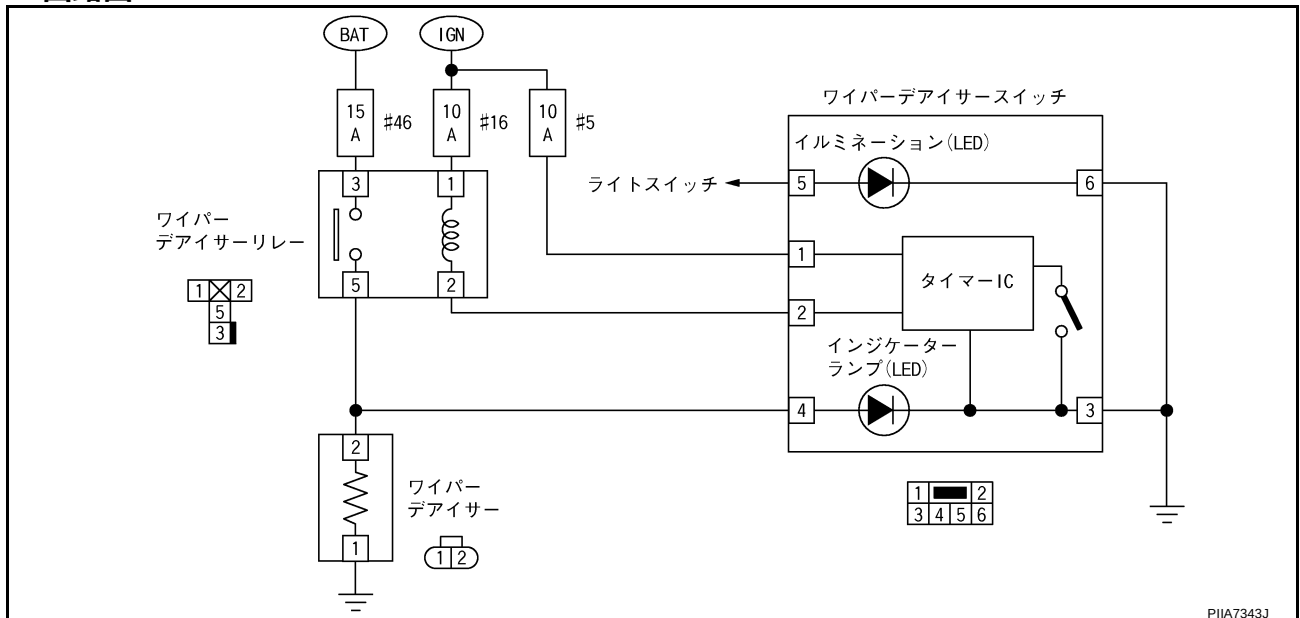
タイマー機能

- ・ キースwitch ON 時、ワイパーデアイサースイッチを ON にした時点でタイマーが働き、約 15 分間ワイパーデアイサーが作動する。
- ・ タイマー機能作動中、ワイパーデアイサースイッチを再度押すとタイマーがキャンセルされワイパーデアイサーの出力を停止する。また、タイマー機能作動中キースwitchを OFF にした時点でも同様である。
- ・ ワイパーデアイサー作動中のタイマー制御はワイパーデアイサースイッチで行われる。

作動説明

JIS0063W

回路図



- ・ ワイパーデアイサーリレー 3 番端子には常時電源が供給されている。
- ・ キースwitchを ON にするとワイパーデアイサースイッチ 1 番端子及びワイパーデアイサーリレー 1 番端子に電源が供給される。
- ・ ワイパーデアイサースイッチ 3、6 番端子、ワイパーデアイサー 1 番端子はアースしている。

ワイパーデアイサースイッチ ON 作動時

- ・ ワイパーデアイサースイッチを ON にすると、ワイパーデアイサースイッチ 2 番端子がワイパーデアイサーリレー 2 番端子をアースさせワイパーデアイサーリレーを ON にする。
- ・ ワイパーデアイサーリレーが ON になると、ワイパーデアイサーリレー 5 番端子よりワイパーデアイサー 2 番端子に電源が供給されワイパーデアイサーが作動する。また、ワイパーデアイサースイッチ 4 番端子にも電源が供給されインジケータが点灯する。

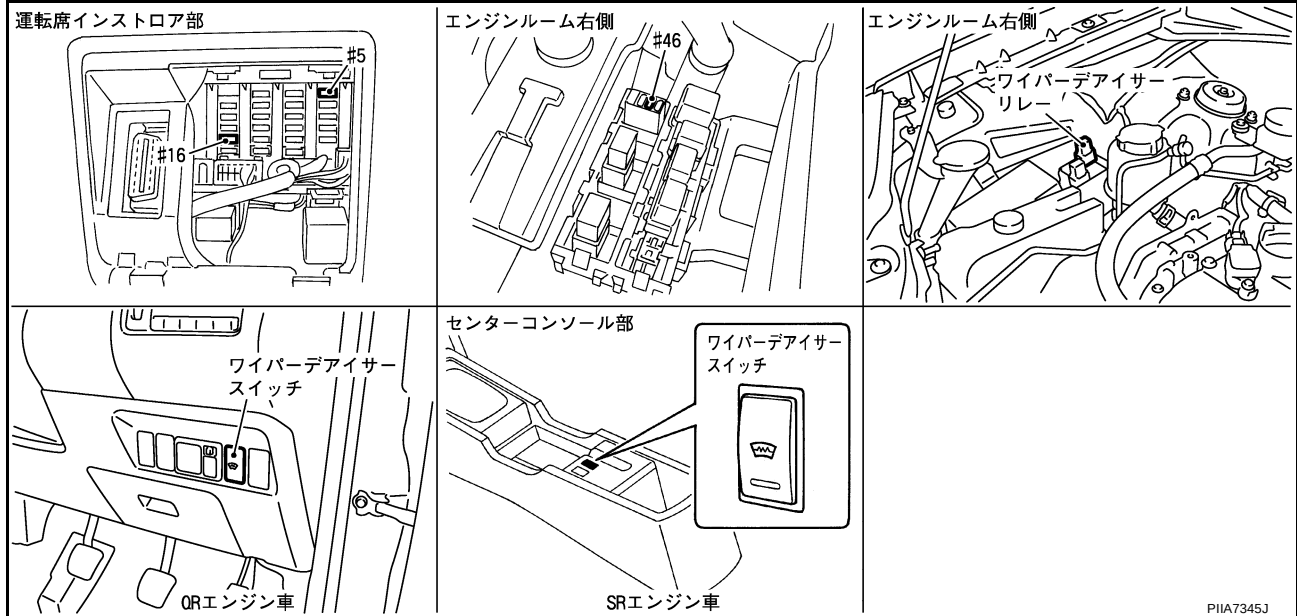
ライトスイッチ点灯時

- ・ ライトスイッチを ON にすると、ワイパーデアイサースイッチ 5 番端子を通りイルミネーションランプに電源が供給される。
- ・ 同時に 6 番端子からアースされ、イルミネーションランプが点灯する。

ワイパーデアイサー

構成部品取付位置

JIS0018K



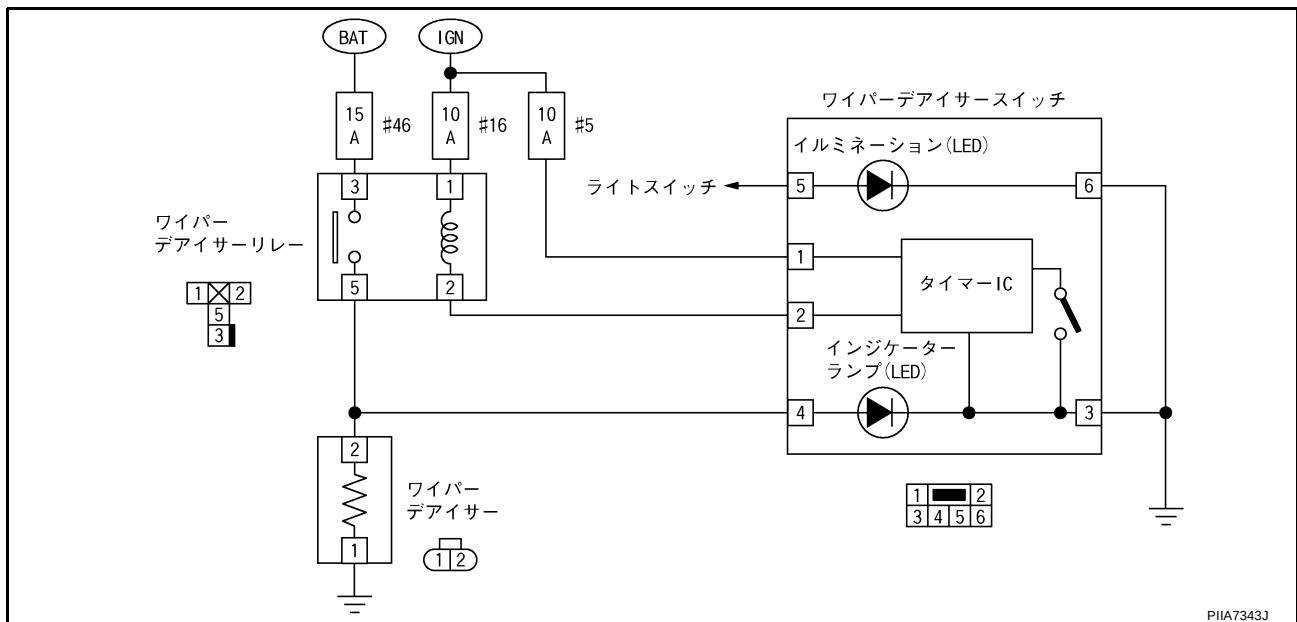
PIIA7345J

主な構成部品とその機能

構成部品	機能
ワイパーデアイサースイッチ	内蔵のタイマー機能によりキー スイッチ 及びワイパーデアイサースイッチ ON 時に約 15 分間、ワイパーデアイサーリレーに制御信号を送信する
ワイパーデアイサーリレー	ワイパーデアイサースイッチの制御によりリレーを ON/OFF させ、ワイパーデアイサーに電源を供給する。

回路図

JIS0018L



PIIA7343J

ワイパーデアイサースイッチ入出力信号基準値

JIS0018M

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は状態	
1	ワイパーデアイサースイッチ 電源	ON	—	約 12
2	ワイパーデアイサーリレー制御信号	ON	ワイパーデアイサースイッチ : ON	約 0 注意
			ワイパーデアイサースイッチ : OFF	約 12

ワイパーデアイサー

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は状態	
3	ワイパーデアイサースイッチアース	ON	—	約 0
4	インジケータランプ (LED) 電源	ON	ワイパーデアイサースイッチ：ON	約 12 注意
			ワイパーデアイサースイッチ：OFF	約 0
5	イルミネーションランプ (LED) 電源	OFF	ライトスイッチ：ON	約 12
			ライトスイッチ：OFF	約 0
6	イルミネーションランプアース	OFF	—	約 0

注意： ワイパーデアイサー出力時（約 15 分間）

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

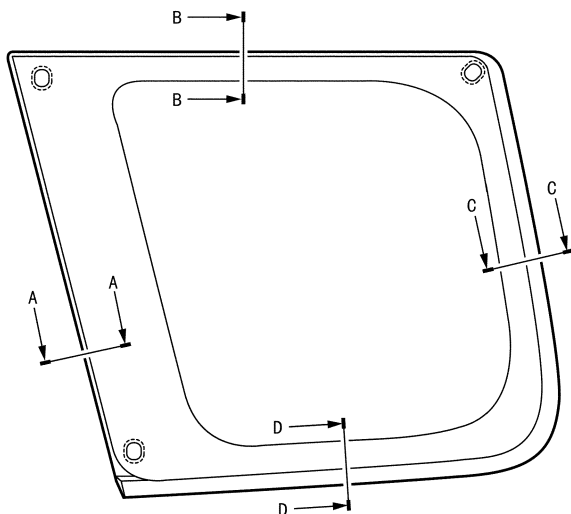
L

サイドウィンドーガラス 取り外し、取り付け

PFP:83300

JIS0018N

SEC. 797

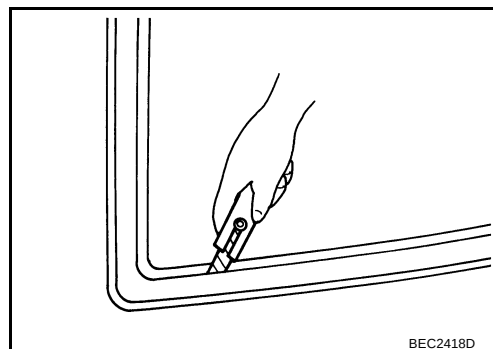


プライマー塗布範囲 (mm)	
ボディ側 17 30 ガラス側 A-A断面	ボディ側 12 17 ガラス側 B-B断面
ボディ側 17 12 ガラス側 C-C断面	ボディ側 17 12 ガラス側 D-D断面
接着剤塗布形状	
ガラス側： ガラス用プライマー ボディ側： 塗装面用プライマー	

PIIA8522J

取り外し

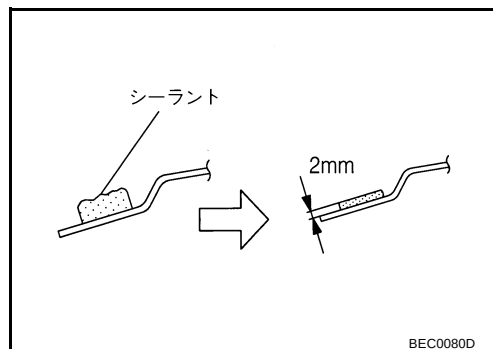
- ラゲッジサイドドアフィニッシャー及びリヤピラーフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「**取り外し、取り付け**」(EI-27 ページ) を参照。
- プリント式アンテナのコネクターを外す。(ガラスアンテナ付車のみ)
- サイドウィンドーガラス周辺の車体パネル部に保護テープを貼り、塗膜に傷が付かないようにする。
- 車両内側より、サイドウィンドーガラスと車体パネルの間にカッターナイフ等を差し込み、刃先をモールと平行に沿わせて、接着剤を切断する。
注意：カッターナイフの刃先が塗装面に当たらないようにすること。
- クリップ (3 箇所) を外しながらガラスを車両から取り外す。



BEC2418D

取り付け

- 車両側残片をナイフ等で厚さ 2mm 位に全周を平滑に削り取る。
注意：車両側の接着面に傷が付いた場合、必ず 2 液型ウレタン塗装で補修し、ラッカー塗料は使用しないこと。
- モールの接着面と周辺をホワイトガソリンで清掃する。
- プライマーを塗布する。
参考：プライマーは、ガラスと塗装面の接着力を強力にする重要な働きをする。
注意：プライマーは 2 種類あるため、その使用方法を絶対に間違えないこと。
塗装用プライマー … 塗装面用
ガラス用プライマー … ガラス用



BEC0080D

- ガラス用プライマーを構成図の指示にしたがってガラス全周に塗布する。

サイドウインドーガラス

4. 車両側接着面に塗装用プライマーを塗布する。

注意： 塗装用プライマーが接着面以外の塗面に付着したり、はみ出した場合は素早くホワイトガソリンで拭き取ること。

5. プライマー塗布後、取扱説明書に指定された時間内で図の要領でガラス全周に接着剤を塗布する。

- 接着剤のノズル先端をカットし、開栓してからシーラントガンにセットする。

6. ガラスに吸引ゴム盤（特殊工具）をセットした後、車両側穴とガラスのクリップを合わせ車両に取り付ける。

7. ガラス全面を軽く押し、完全に密着させる。

8. ヘラなどで接着剤のはみ出しや不足を修正し平滑にする。

注意： ガラス装着後、接着剤が硬化するまでドアガラス（フロント、リヤ）を開けておくこと。また、走行させないこと。

9. 雨漏れを点検する。

10. 保護テープをはがす。

11. 取り外した部品を取り付ける。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

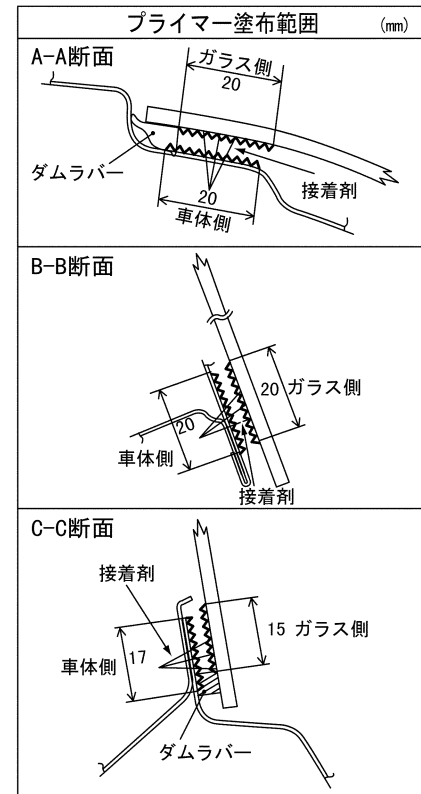
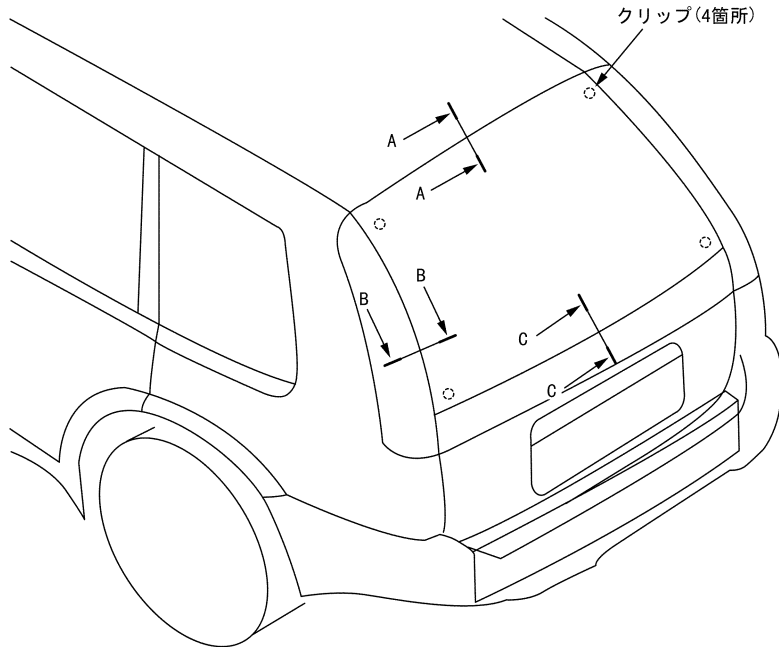
L

バックドアウインドーガラス 取り外し、取り付け

PFP:90300

JIS00180

SEC.797

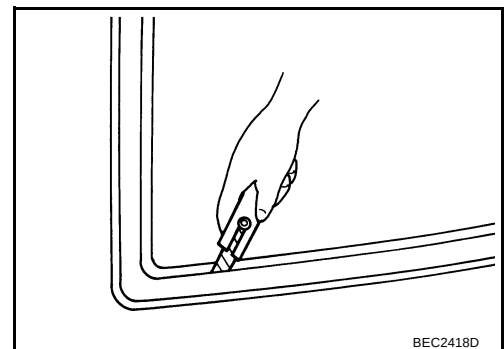


SIIA0240J

取り外し

1. リヤワイパーを取り外す。「WW ワイパー・ウオッシャー・ホーン」の「[取り外し](#)」(WW-11 ページ) を参照。
2. リヤウオッシャーノズルを取り外す。「WW ワイパー・ウオッシャー・ホーン」の「[取り外し](#)」(WW-14 ページ) を参照。
3. リヤデフォグガーとプリント式アンテナのコネクター（ガラスアンテナ付車のみ）を取り外す。
4. バックドアウインドーガラス（モール）外周に保護テープを貼り、塗膜に傷が付かないようにする。
5. カッターナイフを使用し、ガラスに沿わせながらバックドアウインドーモールの切り取る。
6. ボディーフランジに残ったモールのプライヤー等で引き抜いてガラスの接着部から完全に取り除く。
7. 接着剤を切断する。
 - ・ 使用工具により、下記の要領で行う。

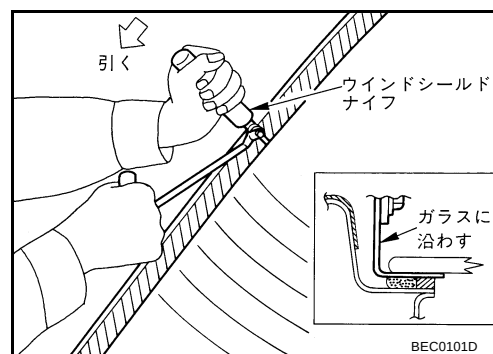
注意： バックドアウインドーガラス再使用時は、ウインドシールドナイフは使用しないこと。（ガラスに傷が付くため）



バックドアウインドーガラス

a. ウインドシールドナイフを使用する場合（ガラス交換時）

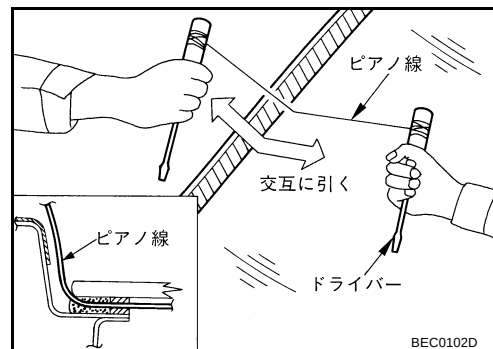
- i. ウインドシールドナイフのすべりを良くするため、ボディ側の接着部全周に石けん水を塗布する。
- ii. 接着部にウインドシールドナイフを差し込み、刃先をガラスと平行に沿わせて引き、接着剤を切断する。



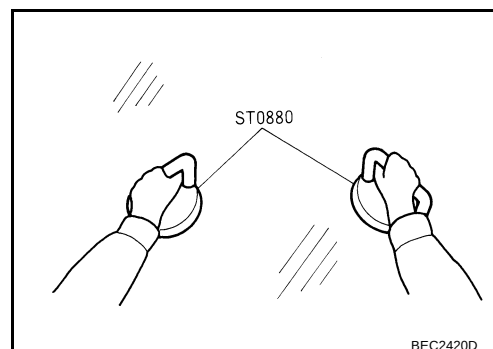
b. ピアノ線を使用する場合（ガラス再使用時）

- i. 室内からガラスの接着部にキリ又はカッターなどで貫通穴を開ける。
- ii. 上記貫通穴に室内からピアノ線を通し両端をドライバー等に結びつける。
- iii. 車両の内と外でガラスに沿ってピアノ線を交互に引き、接着剤を切断する。

注意：・ピアノ線をガラス端部に強く接触させないこと。



8. クリップ（4箇所）を外しながら吸引ゴム盤（特殊工具）相当品を使ってガラスを車両から取り外す。

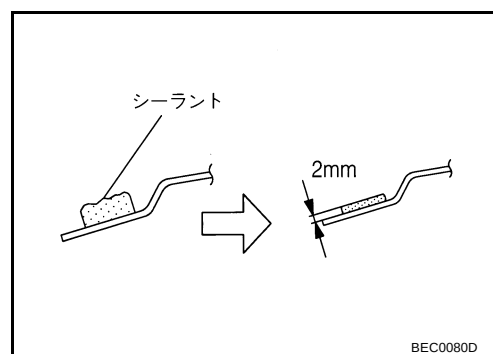


取り付け

1. 車両側の残片をナイフ等で厚さ 2mm 位に全周を平滑に削り取る。

注意： ボディー側の接着面に傷が付いた場合は必ず 2 液型ウレタン塗料で補修し、ラッカー塗料は使用しないこと。

2. 再使用ガラスはガラスに残っている接着剤をナイフなどで平滑に削り取る。
3. ガラスの接着面と周辺をホワイトガソリンで清掃する。



4. プライマーを塗布する。

参考：プライマーは、ガラスと塗装面の接着力を強力にする重要な働きをする。

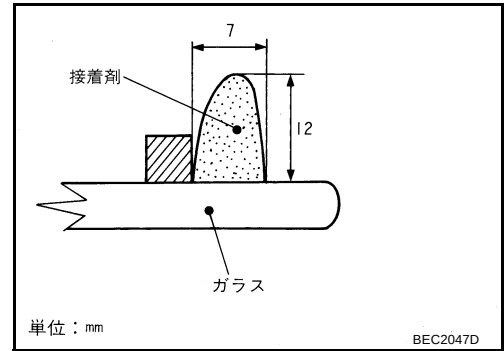
注意： プライマーは 2 種類あるため、その使用方法を絶対に間違えないこと。

- ・塗装用プライマー…塗装面用
- ・ガラス用プライマー…ガラス用
- ・塗装用プライマー及びガラス用プライマーを図の指示にしたがってガラス全周に塗布する。
- ・塗装用プライマーが接着面以外の塗面に付着したり、はみ出した場合は、素早くホワイトガソリンで拭き取る。

バックドアウインドーガラス

5. プライマー塗布後、取扱説明書に指定された時間内で図のガラス全周に接着剤を塗布する。

- 接着剤のノズル先端をカットし、開栓してからシーラントガンにセットする。



6. ガラスに吸引ゴム盤（特殊工具）相当品をセットした後、クリップ（4箇所）をボディーの穴に合わせて取り付け。

7. ガラス全面を軽く押して完全に密着させる。

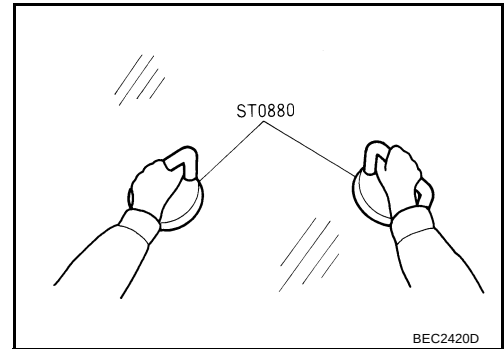
8. へらなどで接着剤のはみ出しや不足を修正し平滑にする。

注意: ガラス装着後、接着剤が硬化するまでドアガラスを開けておくこと。また、走行させないこと。

9. 雨漏れを点検する。

10. 保護テープをはがす。

11. 取り外した部品を取り付ける。



バックドアウインドーデフォッガー システム概要

PF9:90300

JIS0018P

タイマー機能

1. リヤデフォッガーシステム

- ・ キースイッチ ON 時、リヤウインドーデフォッガースイッチ OFF→ON 時点でリヤデフォッガーに出力し、同時にタイマー機能（約 15 分間）が作動する。
- ・ タイマー機能作動中、リヤウインドーデフォッガースイッチ OFF→ON 時点で、タイマー機能とリヤデフォッガーの出力を停止する。また、タイマー機能作動中にキースイッチを ACC または OFF にした場合も同様である。
- ・ リヤデフォッガー作動中のタイマー制御は、メーターコントロールユニットで行う。

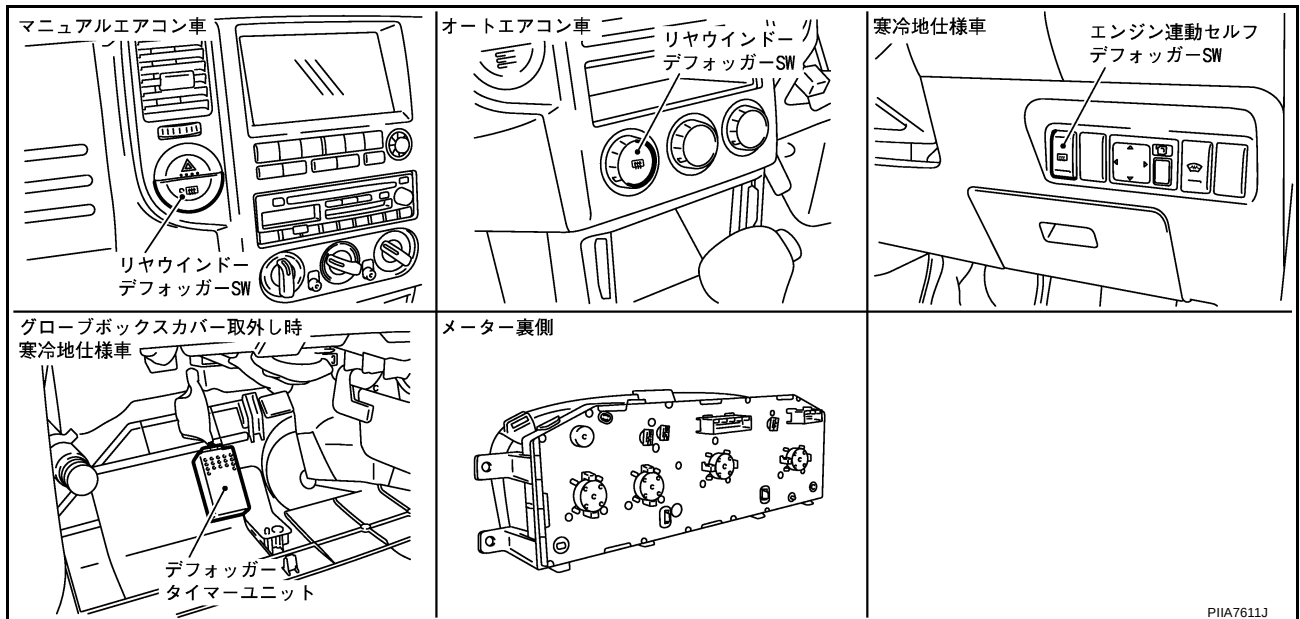
2. エンジン連動セルフデフォッガーシステム（寒冷地仕様）

- ・ エンジン連動セルフデフォッガースイッチ ON 時、キースイッチ START 信号検出後、車室内の温度が約 15℃ 以下の場合のみ約 5 秒後にヒーターミラー及びリヤデフォッガーが約 15 分間作動する。
- ・ タイマー機能作動中、エンジン連動セルフデフォッガースイッチを OFF にするとヒーターミラー及びリヤデフォッガーへの出力を停止する。また、キースイッチを ACC または OFF にした場合も同様にヒーターミラー及びリヤデフォッガーへの出力を停止する。
- ・ エンジン連動セルフデフォッガー作動時のタイマー制御は、デフォッガータイマーユニットで行う。

- 注意：**・ タイマー作動中、車室内の温度が約 15℃ 以上となった場合でも、タイマー終了（約 15 分間）までヒーターミラー及びリヤデフォッガーへの出力は継続される。
- ・ 温度測定回路では検出された温度によりデフォッガーの ON・OFF 作動を行う。この時の検出温度はデフォッガータイマーユニット内の温度であり、実際の車室内の温度とは若干異なる場合がある。

構成部品取付位置

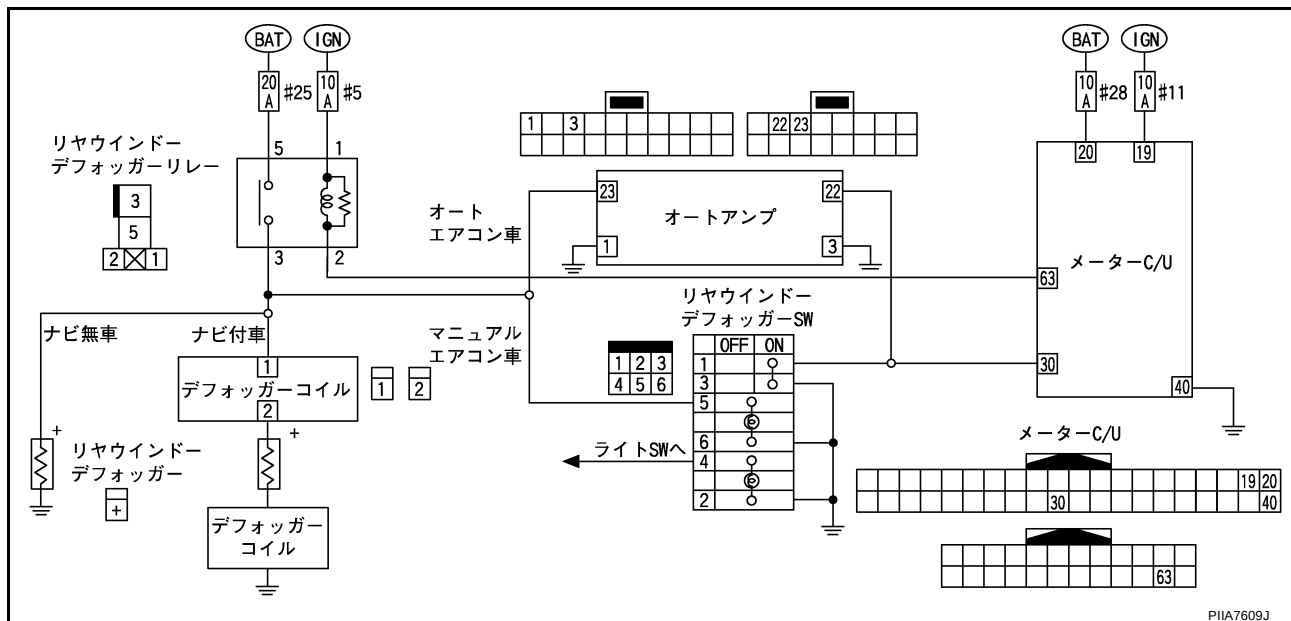
JIS0063L



バックドアウインドーデフォッガー

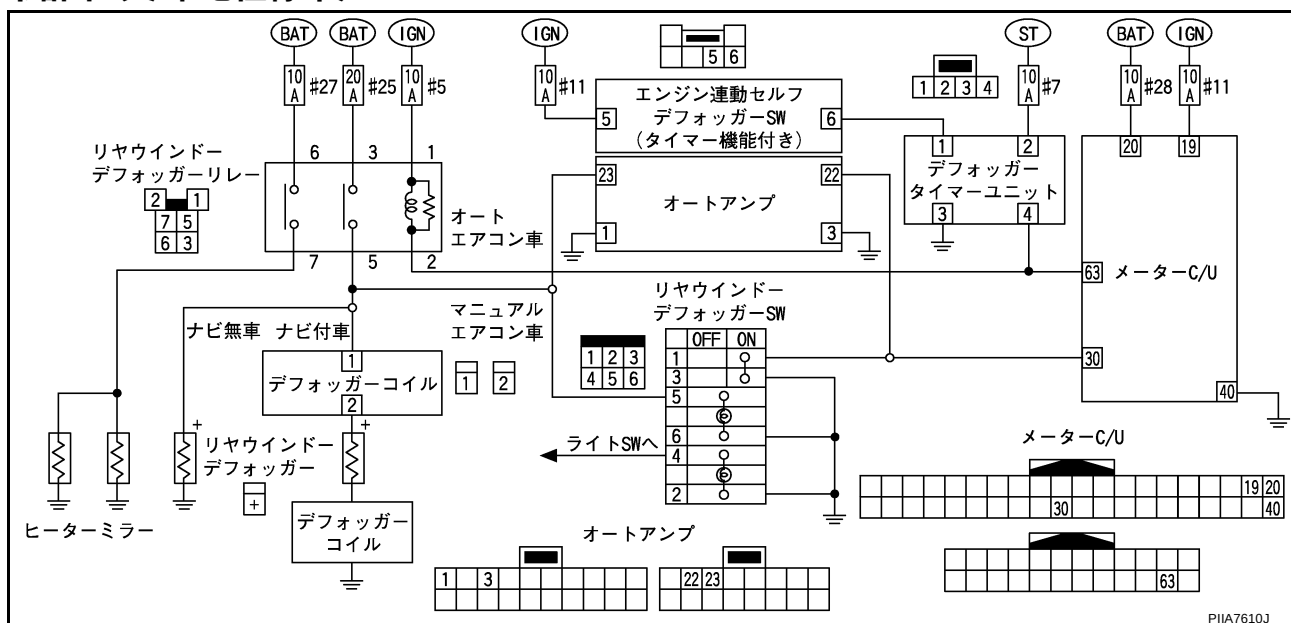
回路図

JIS0063M



回路図 (寒冷地仕様車)

JIS0063N



バックドアウインドーデフォッガー

メーターコントロールユニット入出力信号基準値

JIS0063O

端子 番号	信号名称	操作条件		基準値 (V)
		キー SW	操作	
19	IGN 電源	ON	—	約 12
20	BAT 電源	OFF	—	約 12
30	リヤデフォッガー SW 信号	ON	リヤデフォッガー SW	ON (SW を押した状態) 約 0
			OFF	約 12
40	アース	ON	—	約 0
63	リヤデフォッガーリレー制御信号	ON	リヤデフォッガー SW	ON 約 0 注意
			OFF	約 12

注意： リヤデフォッガー出力時（約 15 分間）

デフォッガータイマーユニット入出力信号基準値

JIS0063P

端子 番号	信号名称	操作条件		基準値 (V)
		キー SW	操作	
1	エンジン連動セルフ デフォッガー SW 信号	ON	エンジン連動セルフ デフォッガー SW	ON 約 12
			OFF	約 0
2	START 信号	ST	キー SW を START 位置にする	約 12
		—	上記以外	約 0
3	アース	ON	—	約 0
4	リヤデフォッガーリレー制御信号	ON	エンジン連動セルフ デフォッガー SW (車室内の温度が 15 °C 以下の時)	ON 注意 1 約 0 注意 2
			OFF	約 12

注意： 1. エンジン連動セルフデフォッガースイッチを ON 状態にしてからエンジンを始動して測定する。

2. リヤデフォッガー出力時（約 15 分間）

GW

パワーウィンドーシステム システム概要

PFP:25401

JIS0018Q

タイマー機能

- ・タイマー機能によりキースイッチ OFF 後 (ON 以外) 約 15 分間運転席パワーウィンドーの操作が可能。ただし、運転席ドア開 (ドアスイッチ ON) → 閉 (ドアスイッチ OFF) 又は、キースイッチ OFF→ON の信号が入力されるとタイマーはリセットされる。

運転席挟み込み防止機能

- ・運転席パワーウィンドー上昇作動時、異物等の挟み込みを検出したとき、パワーウィンドーが約 150mm 反転下降作動する。

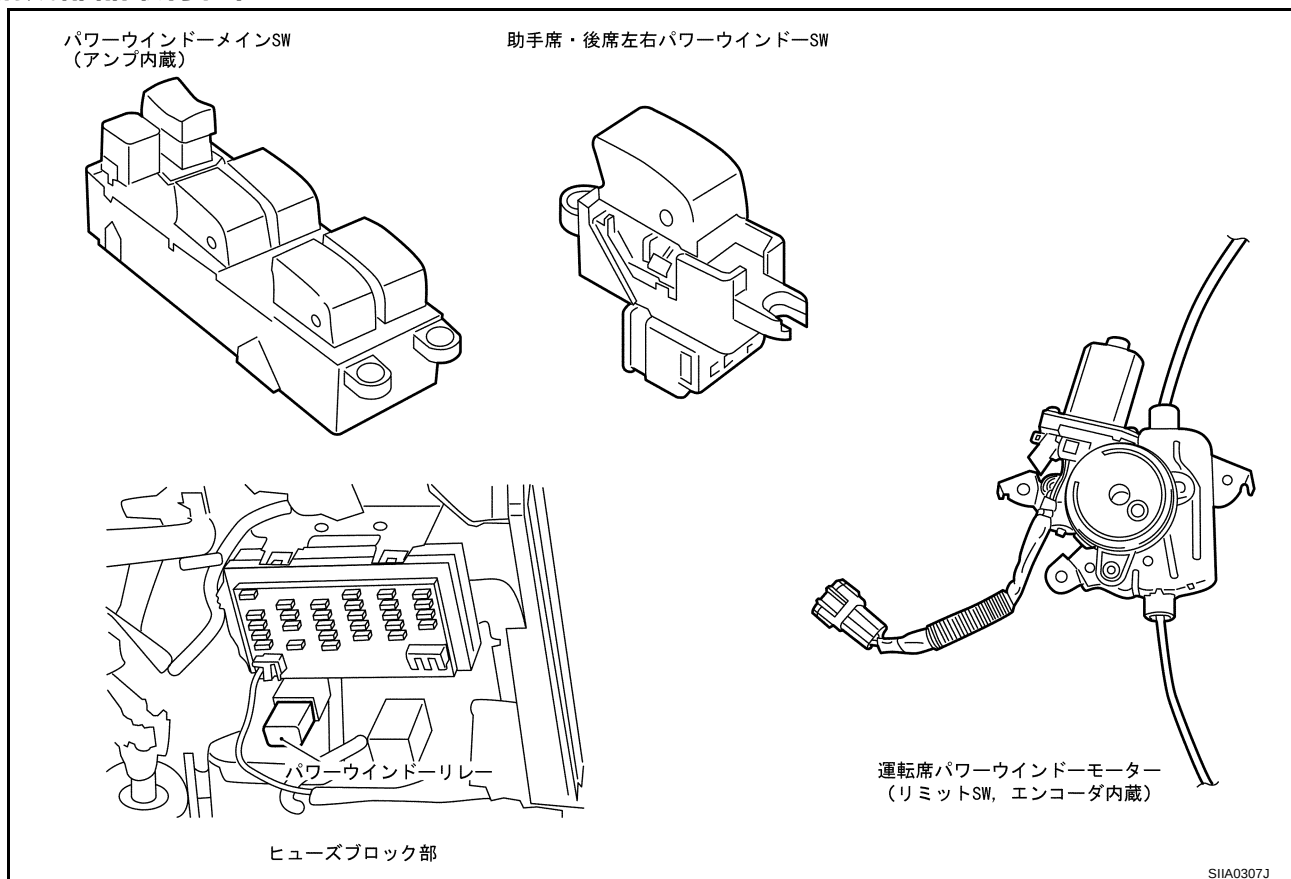
注意： 環境や走行条件により、異物を挟み込んだときと同じ衝撃や荷重がパワーウィンドーに加わると、反転作動することがある。

作動条件

- ・運転席ドアガラス全開～全閉直前位置 (リミットスイッチ ON 時)
- ・キースイッチ ON 時のオート作動時
- ・キースイッチ ON 以外 (タイマー作動時) のオート及びマニュアル作動時

構成部品取付位置

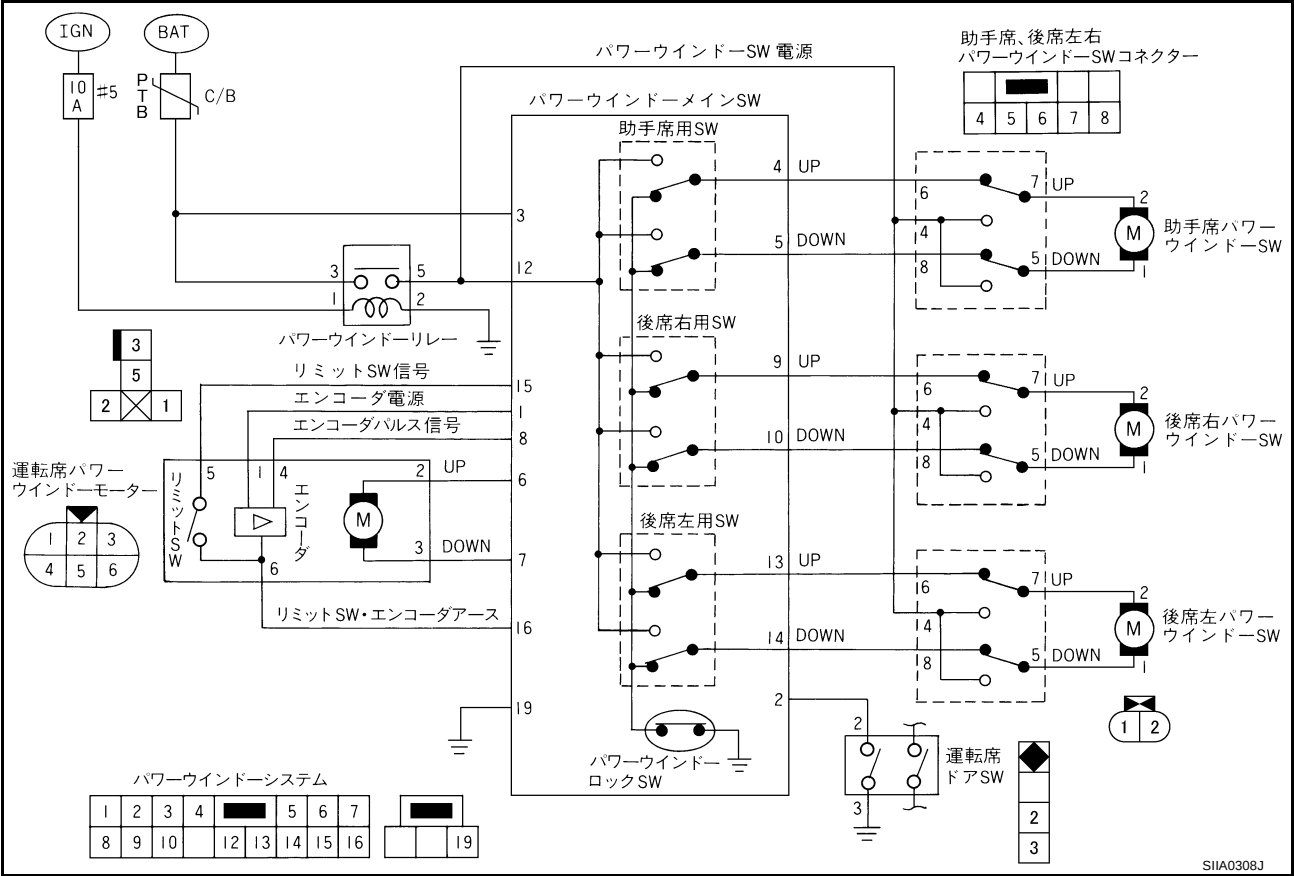
JIS0018R



パワーウィンドーシステム

回路図

JIS0018S

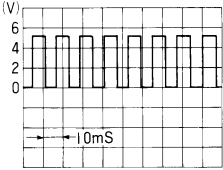


パワーウィンドーメインスイッチ入出力信号基準値

JIS0018T

端子 番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)	
		キー SW	操作又は条件		
1	エンコーダ電源	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)		約 10	
2	運転席ドア SW 信号	—	運転席ドア開 (ON)	約 0	
			運転席ドア閉 (OFF)	約 12	
3	BAT 電源	—		約 12	
4	助手席 パワーウィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	

パワーウィンドーシステム

端子 番号	信号名称	測定条件			基準値 (V)
		キー SW		操作又は条件	
5	助手席 パワーウィンドー DOWN 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 0
				メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 12
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外		約 0
6	運転席 パワーウィンドー モーター UP 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)		UP 作動時	約 12
				上記以外	約 0
7	運転席 パワーウィンドー モーター DOWN 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)		DOWN 作動時	約 12
				上記以外	約 0
8	エンコーダパルス 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)		パワーウィンドーモー ター作動時	約 2.5  OCC3383D
9	後席右 パワーウィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外		約 0
10	後席右 パワーウィンドー DOWN 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 0
				メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 12
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外		約 0

パワーウィンドーシステム

端子 番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)	
		キー SW	操作又は条件		
12	助手席、後席左右 パワーウィンドー SW 用電源	ON	—	約 12	
13	後席左 パワーウィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モータ非作動)	約 12
			上記以外	約 0	
14	後席左 パワーウィンドー DOWN 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 0
				メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 12
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	
15	リミット SW 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	運転席ドアガラス全開 ～全閉直前位置 (ON)	約 0	
			運転席ドアガラス全閉 直前位置～全閉位置 (OFF)	約 5	
16	リミット SW・ エンコーダアース	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	—	約 0	
19	アース	—		約 0	

各席パワーウィンドースイッチ入出力信号基準値

JIS0018U

端子 番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
4	パワーウィンドー SW 電源	ON	—	約 12
5	パワーウィンドーモー ター DOWN 信号	ON	DOWN 作動時	約 12
			UP 作動時	約 0
			上記以外	約 0

パワーウィンドーシステム

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
6	パワーウィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	約 0
			パワーウィンドー SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
			パワーウィンドー SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0
7	パワーウィンドーモーター UP 信号	ON	UP 作動時	約 12
			DOWN 作動時	約 0
			上記以外	約 0
8	パワーウィンドー DOWN 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	約 0
			パワーウィンドー SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
			パワーウィンドー SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0

現象別故障診断早見表

JIS0018V

- ・ 下記システムの信号を使用している他のシステムが正常に作動するか点検する

現象	不具合系統
全席パワーウィンドーが作動しない	パワーウィンドーメイン SW 経路 1 「 パワーウィンドーメインスイッチ経路 1 点検 」 (GW-23 ページ)
運転席パワーウィンドーが作動しない	運転席パワーウィンドーモーター経路「 運転席パワーウィンドーモーター経路点検 」 (GW-24 ページ)
助手席、後席左右のパワーウィンドーが全て作動しない	パワーウィンドーメイン SW (パワーウィンドーロック SW) 不良「 パワーウィンドーメインスイッチ経路 2 点検 」 (GW-25 ページ)
助手席、後席左右パワーウィンドーいずれかが作動しない (各席パワーウィンドー SW 操作では作動する)	パワーウィンドーメイン SW 経路 2 「 パワーウィンドーメインスイッチ経路 2 点検 」 (GW-25 ページ)
助手席、後席左右パワーウィンドーいずれかが作動しない (パワーウィンドーメイン SW 操作では作動する)	各席 (助手席、後席左右) パワーウィンドー SW 経路「 各席 (助手席、後席左右) パワーウィンドーメインスイッチ経路点検 」 (GW-25 ページ)
キー SW ON 時のオート作動及びタイマー機能作動時、運転席ドアガラス上昇作動しない	リミット SW 経路「 リミットスイッチ経路点検 」 (GW-26 ページ)
運転席ドア開閉操作でタイマー機能が停止しない	運転席ドア SW 経路「 運転席ドアスイッチ経路点検 」 (GW-27 ページ)

パワーウィンドーシステム

現象	不具合系統
運転席ドアガラス異物挟み込み時、反転作動しない	リミット SW 経路「 リミットスイッチ経路点検 」(GW-26 ページ)
運転席ドアガラスオート上昇作動時、全閉付近で反転作動する	- リミット SW 経路「リミットスイッチ経路点検」(GW-26 ページ) - ドアガラスしゅう動不良 - ガラス、グラスランラバー等に異物付着 - グラスランラバーの摩耗、変形 - サッシュの倒れ込み過ぎ又は、起こし過ぎ
運転席ドアガラスオート上昇作動時、作動開始後すぐに反転作動する	- エンコーダ経路「エンコーダ経路点検」(GW-28 ページ) - ドアガラスしゅう動不良 - ガラス、グラスランラバー等に異物付着 - グラスランラバーの摩耗、変形 - サッシュの倒れ込み過ぎ又は、起こし過ぎ
運転席ドアガラスオート上昇作動時、上記以外の位置で反転作動する	- パワーウィンドーメイン SW 不良 - ドアガラスしゅう動不良 - ガラス、グラスランラバー等に異物付着 - グラスランラバーの摩耗、変形 - サッシュの倒れ込み過ぎ又は、起こし過ぎ

パワーウィンドーメインスイッチ経路 1 点検

JIS0018W

点検要領

1. パワーウィンドーメイン SW 電源回路点検

パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 3 (BAT) 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

3 番端子～ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

OK >> 2 へ

NG >> 電源回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. パワーウィンドーリレー回路点検

キーSW を ON し、パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 12 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

12 番端子～ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

OK >> 3 へ

NG >> パワーウィンドーリレー電源回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・パワーウィンドーリレー～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。

3. パワーウィンドーメイン SW アース回路点検

キーSWをOFFし、パワーウィンドーメインSW車両側コネクタ19番端子～ボディーアース間の導通点検を行う。

19 番端子～ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK >> パワーウィンドーメイン SW 不良
- NG >> ・ アース回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
 ・ コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

運転席パワーウィンドーモーター経路点検

JIS0018X

点検要領

1. 運転席パワーウィンドーモーター回路点検

運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 2、3 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 6、7 番端子間のハーネス導通点検を行う。

モーター～メイン SW

2 番端子～ 6 番端子 : 導通あり
3 番端子～ 7 番端子 : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK >> 2 へ
- NG >> ・ 運転席パワーウィンドーモーター～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
 ・ コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. パワーウィンドーメイン SW 入出力信号点検

運転席パワーウィンドー SW を操作し、パワーウィンドーメイン SW 6、7 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

ドアガラス上昇作動

6 番端子～ボディーアース : 約 12V
7 番端子～ボディーアース : 約 0V

ドアガラス下降作動

6 番端子～ボディーアース : 約 0V
7 番端子～ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

- OK >> 運転席パワーウィンドーモーター不良
- NG >> パワーウィンドーメイン SW 不良

パワーウィンドーメインスイッチ経路 2 点検

JIS0018Y

点検要領

1. パワーウィンドーリレー回路点検

キーSW を ON し、パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 12 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

12 番端子～ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

OK >> 2 へ

NG >> ・ パワーウィンドーリレー電源回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・ パワーウィンドーリレー～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。

2. パワーウィンドーメイン SW 回路点検

パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 4、5、9、10、13、14 番端子～各席パワーウィンドー SW 車両側コネクタ 6、8 番端子間のハーネス導通点検を行う。

助手席パワーウィンドー

4 番端子～6 番端子 : 導通あり

5 番端子～8 番端子 : 導通あり

後席右パワーウィンドー

9 番端子～6 番端子 : 導通あり

10 番端子～8 番端子 : 導通あり

後席左パワーウィンドー

13 番端子～6 番端子 : 導通あり

14 番端子～8 番端子 : 導通あり

点検結果は OK か？

OK >> パワーウィンドーメイン SW 不良

NG >> ・ 各席パワーウィンドー SW ～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・ コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

各席（助手席、後席左右）パワーウィンドースイッチ経路点検

JIS0018Z

点検要領

1. パワーウィンドーリレー回路点検

キー SW を ON し、各席パワーウィンドー SW 車両側コネクタ 4 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

4 番端子～ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

OK >> 2 へ

NG >> ・ パワーウィンドーリレー電源回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・ パワーウィンドーリレー～各席パワーウィンドー SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

2. 各席パワーウィンドー SW 点検

各席パワーウィンドー SW を操作し、各席パワーウィンドー SW 車両側コネクタ 5、7 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

ドアガラス上昇作動

- | | |
|---------------|---------|
| 5 番端子～ボディーアース | : 約 0V |
| 7 番端子～ボディーアース | : 約 12V |

ドアガラス下降作動

- | | |
|---------------|---------|
| 5 番端子～ボディーアース | : 約 12V |
| 7 番端子～ボディーアース | : 約 0V |

点検結果は OK か？

- | | |
|----|---|
| OK | ≫ ・ 各席パワーウィンドー SW ～パワーウィンドーモーター間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・ パワーウィンドーモーター不良 |
| NG | ≫ 各席パワーウィンドー SW 不良 |

リミットスイッチ経路点検

JIS00190

点検要領

1. 運転席パワーウィンドーモーター（リミット SW）回路点検

運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 5、6 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 15、16 番端子間のハーネス導通点検を行う。

モーター～メイン SW

- | | |
|---------------|--------|
| 5 番端子～ 15 番端子 | : 導通あり |
| 6 番端子～ 16 番端子 | : 導通あり |

点検結果は OK か？

- | | |
|----|--|
| OK | ≫ 2 へ |
| NG | ≫ ・ 運転席パワーウィンドーモーター～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・ コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。 |

2. 運転席パワーウィンドーモーター点検

運転席パワーウィンドーをマニュアル操作で作動させ、運転席パワーウィンドーモーター 5 ～ 6 番端子間の導通点検を行う。

ドアガラス全閉位置

- | | |
|--------------|--------|
| 5 番端子～ 6 番端子 | : 導通なし |
|--------------|--------|

ドアガラス全開位置

- | | |
|--------------|--------|
| 5 番端子～ 6 番端子 | : 導通あり |
|--------------|--------|

点検結果は OK か？

- | | |
|----|--|
| OK | ≫ パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | ≫ パワーウィンドーモーター不良（リミット SW 接点不良及び内部回路断線） |

運転席ドアスイッチ経路点検

JIS00191

点検要領

1. 運転席ドア SW 回路点検

運転席ドア SW 車両側コネクタ 2 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 2 番端子間のハーネス導通点検を行う。

ドア SW ～ メイン SW

2 番端子～2 番端子 : 導通あり

点検結果は OK か？

OK >> 2 へ

NG >> ・ 運転席ドア SW ～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無い点検する。
・ コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. 運転席ドア SW アース回路点検

運転席ドア SW 車両側コネクタ 3 番端子～ボディーアース間の導通点検を行う。

3 番端子～ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK >> 3 へ

NG >> ・ 運転席ドア SW アース回路ハーネスの断線、ショートが無い点検する。
・ コネクタハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

3. 運転席ドア SW 点検

運転席ドアを開閉作動させ、運転席ドア SW 2 ～ 3 番端子間の導通点検を行う。

ドア閉

2 番端子～3 番端子 : 導通なし

ドア開

2 番端子～3 番端子 : 導通あり

点検結果は OK か？

OK >> パワーウィンドーメイン SW 不良

NG >> 運転席ドア SW 不良

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

エンコーダ経路点検

JIS00192

点検要領

1. 運転席パワーウィンドーモーター（エンコーダ）回路点検

運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター1、4、6 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター1、8、16 番端子間のハーネス導通点検を行う。

モーター～メイン SW

1 番端子～1 番端子	: 導通あり
4 番端子～8 番端子	: 導通あり
6 番端子～16 番端子	: 導通あり

点検結果は OK か？

OK >> 2 へ

NG >> ・ 運転席パワーウィンドーモーター～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
・ コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. パワーウィンドーメイン SW 入出力信号点検

運転席パワーウィンドーメイン SW 1 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

1 番端子～ボディーアース : 約 10V

点検結果は OK か？

OK >> 3 へ

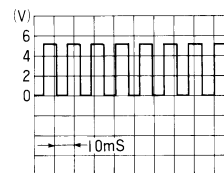
NG >> パワーウィンドーメイン SW 不良

3. パワーウィンドーメイン SW 入出力信号点検

運転席パワーウィンドーをマニュアル操作で作動させ、運転席パワーウィンドーメイン SW 8 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

上昇作動時

8 番端子～ボディーアース : 波形



点検結果は OK か？

OK >> パワーウィンドーメイン SW 不良

NG >> 運転席パワーウィンドーモーター不良

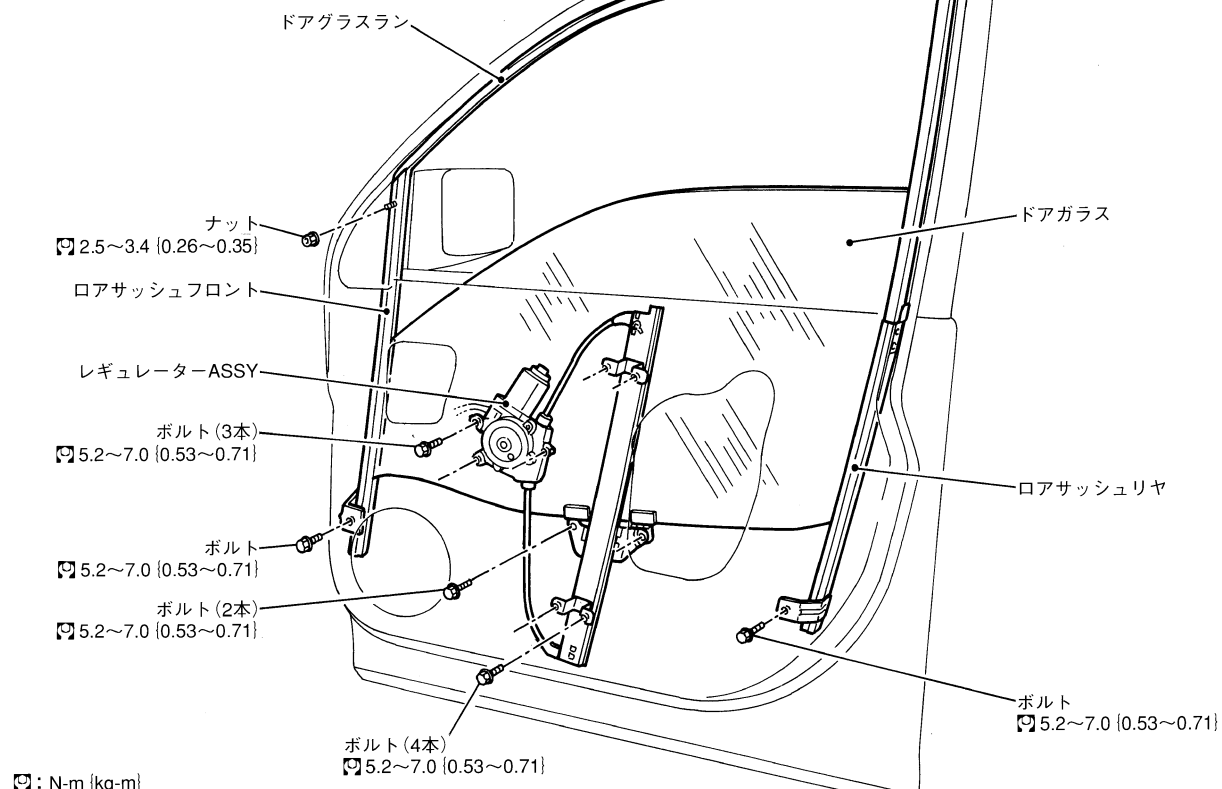
OCC3383D

フロントドアガラス&レギュレーター 取り外し、取り付け

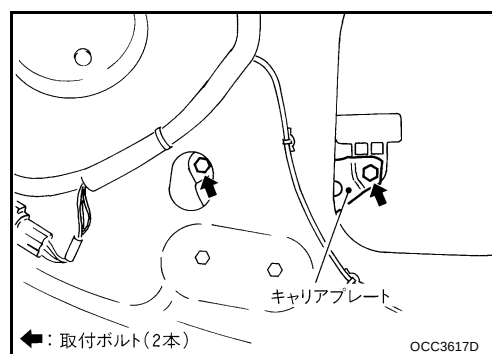
PFP:80300

JIS00193

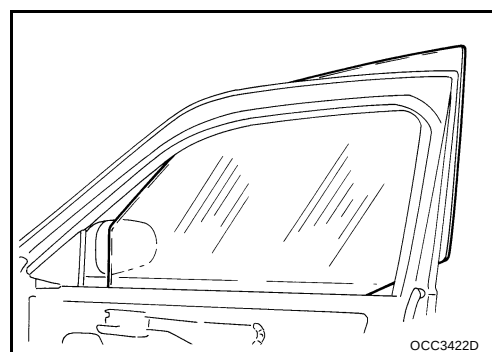
SEC.803



1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「E 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-24 ページ) を参照。
2. シーリングスクリーンを取り外す。
参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
3. パワーウィンドーメインスイッチを操作してキャリアプレート取付ボルトが見える位置までドアガラスを昇降させる。
4. キャリアプレート取付ボルトを外す。



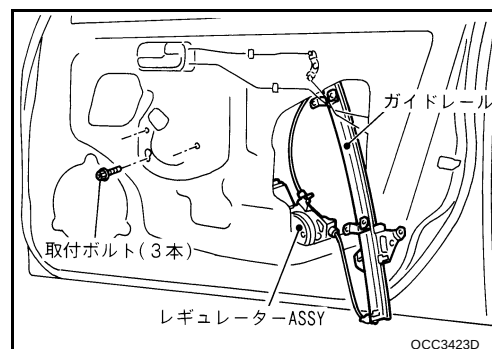
5. ドアガラスを持ち、後端より上に持ち上げながらサッシュ部よりガラスを抜き、ドア外側にガラスを引き抜く。



フロントドアガラス&レギュレーター

- レギュレーター ASSY のコネクターを分離する。
- レギュレーター ASSY 及びガイドレール取付ボルトを外し作業穴より取り出す。

取り付けは、取り外しの逆の順序で行う。



取り外し後の点検

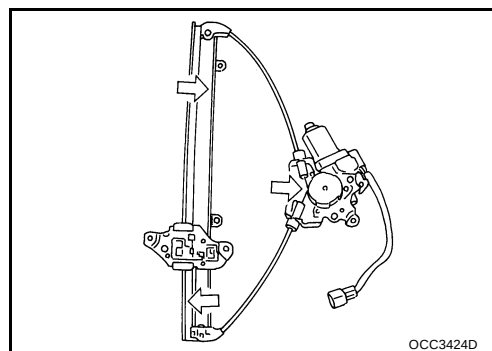
- レギュレーター ASSY は下記項目を点検し、異常があれば、交換又は給油する。

ワイヤの摩耗状態

レギュレーターの変形

各しゅう動部の給油状態

- 図の矢印はグリース「ダウコーニングモリコート SK623」または相当品の塗布箇所を示す。



取り付け後の点検

リミットスイッチの再設定（運転席側）

下記作業を行った場合は、リミットスイッチ（モーター内蔵）の再設定を行う。

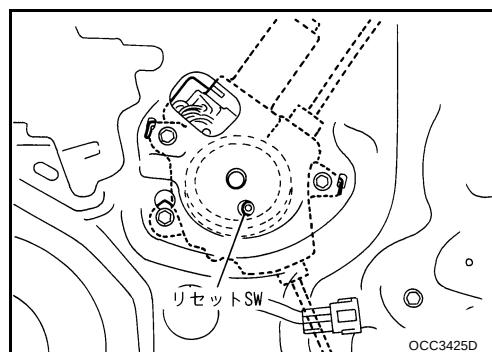
- レギュレーターの取り外し、取り付け
- レギュレーターからのモーターの取り外し、取り付け
- レギュレーターを単体で作動
- ガラスの取り外し、取り付け
- ガラスランの取り外し、取り付け

リセット操作

車両に各部品を組付後下記手順で行う。

- ガラスを上死点まで上げる。
- リセットスイッチを押したままガラスを下死点まで下げる。
- リセットスイッチを離しリセットスイッチが元に戻ったことを確認後ガラスを上死点まで上げる。

注意：ガラスを上死点まで上げるときは、オート操作では行わないこと。



建付点検

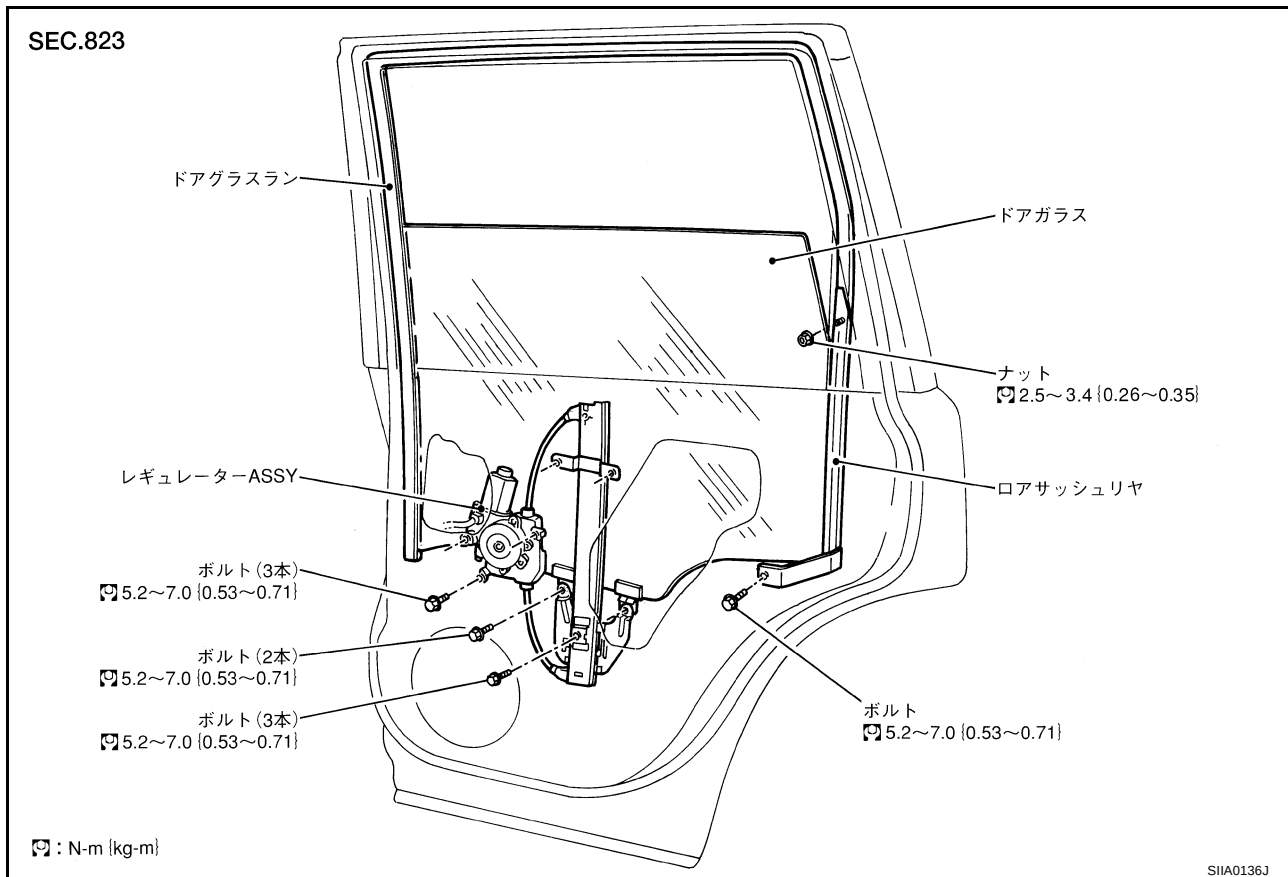
- ガラスが確実にガラスラン溝に入っていることを確認する。
- ガラスを昇降させ作動に異常がないか確認する。

リヤドアガラス&レギュレーター

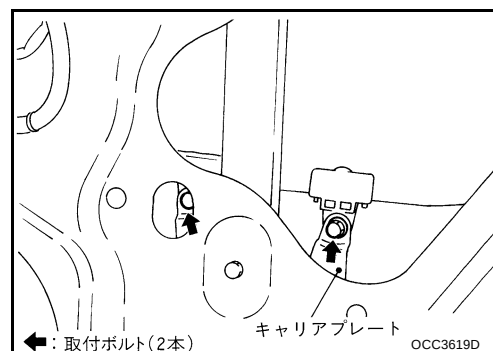
PFP:82300

JIS00194

取り外し、取り付け

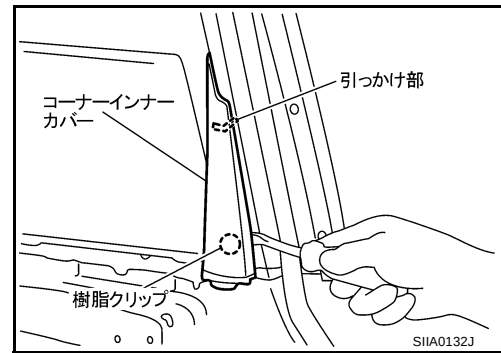


1. リヤドアアウトサイドモールを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-14 ページ) を参照。
2. リヤドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-24 ページ) を参照。
3. シーリングスクリーンを取り外す。
参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
4. パワーウインドースイッチを操作してキャリアプレート取付ボルトが見える位置までドアガラスを昇降させる。
5. キャリアプレート取付ボルトを外し、ガラスをドア内部におろしておく。

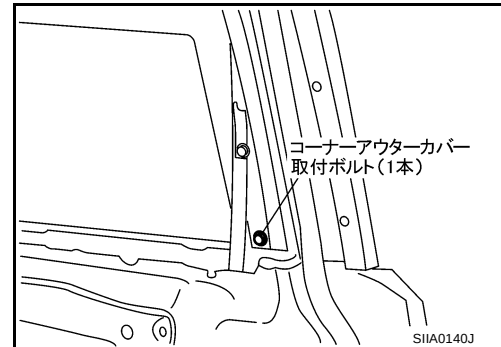


リヤドアガラス&レギュレーター

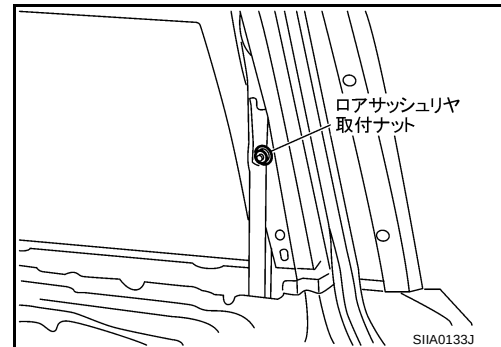
6. マイナスドライバー等でコーナーインナーカバーのクリップ部を外した後、上部の引っ掛けを上方にスライドさせながら外しカバーを取り外す。
7. コーナーインナーカバー内側のサッシュカバーを前方にスライドさせて取り外す。



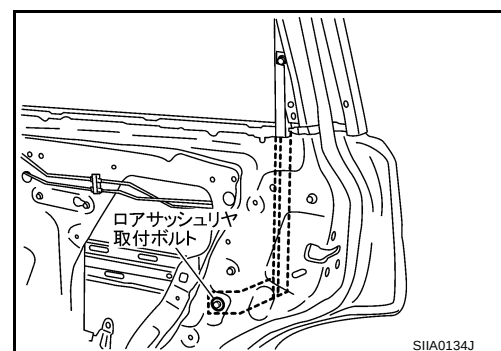
8. コーナーアウターカバー取付ボルトを外し、上部の引っ掛けを外しカバーを取り外す。



9. ロアサッシュリヤ上部の取付ナットを外す。

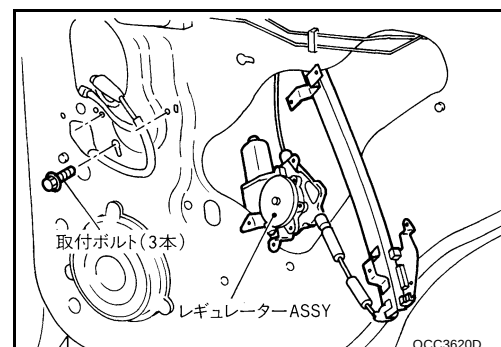


10. ロアサッシュリヤ下部の取付ボルトを外す。
11. ロアサッシュリヤを回転させ、ガラスランよりドアガラスを外す。
12. ドアガラスをドア外側に引き抜き取り外す。
13. ロアサッシュリヤよりガラスランを取り外す。
14. ロアサッシュリヤを取り外す。



15. レギュレーター ASSY のコネクターを分離する。
16. レギュレーター ASSY 及びガイドレール取付ボルトを外し、作業穴より取り出す。

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。



取り外し後の点検

- レギュレーター ASSY は下記項目を点検し、異常があれば、交換又は給油する。

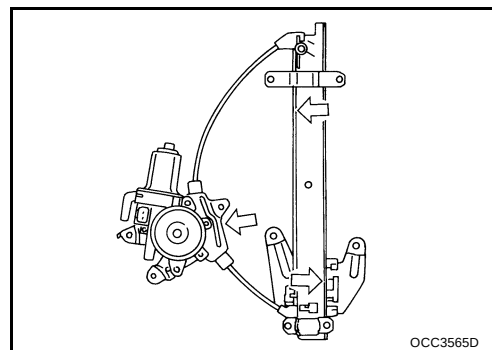
ギヤの摩耗状態

レギュレーターの変形

スプリングの損傷

各しゅう動部の給油状態

- 図の矢印はグリース「ダウコーニングモリコート SK623」または相当品の塗布箇所を示す。



建付点検

- ガラスが確実にガラスラン溝内に入っていることを確認する。
- ガラスを昇降させ作動に異常がないか確認する。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

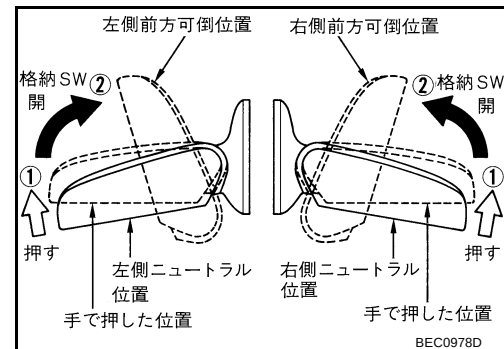
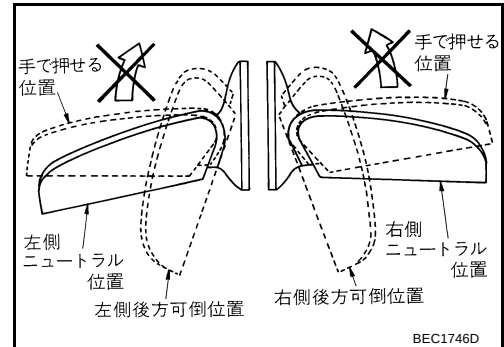
ドアミラー

PF9:96301

電動格納ドアミラーの取り扱い上の注意

JIS00195

- 電動格納ドアミラーの格納操作は手動で行わないこと。もし、手動で操作を行なったときは、必ず格納スイッチで手動で操作した方向と反対側停止位置まで操作すること。なお、このとき“カチン”という大きな音が出るが異常ではない。（手動でミラーボディをニュートラル位置に操作して走行するとドアミラーに振動が出たり、格納時引っ掛かったり、時々格納しないという現象が発生する。）



注意：ミラーボディを無理に前方に倒すと、ミラー本体が破損する恐れがある。

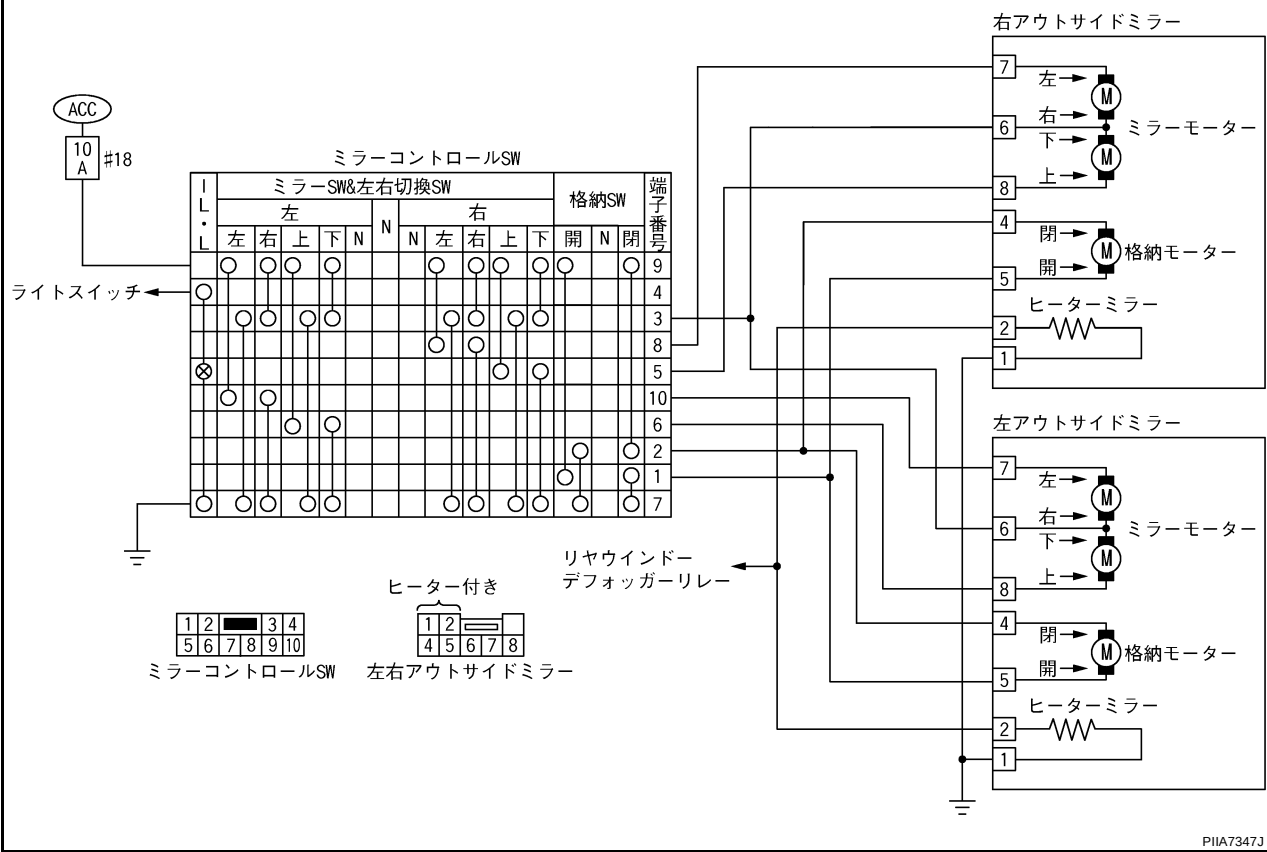
- 格納スイッチでニュートラル位置から全閉（後方可倒）位置に操作したとき、初動時に“カチッ”という小さな音が出るが異常ではない。
- 電動格納ドアミラーのミラーボディはニュートラル位置で、右側と左側の取付角度が異なるため、格納スイッチで操作したとき、右側に多少の遅れが発生する。

参考：・電動格納ドアミラーのミラーボディがニュートラル位置の状態のとき、手で前方に押した状態で、さらに格納スイッチを開く方向に操作すると、ミラーボディが前方可倒位置に移動するが異常ではない。この場合、必ず格納スイッチで全閉（後方可倒）位置まで移動させること。

- 電動格納ドアミラーは、格納スイッチを連続5回以上操作すると、作動しなくなる場合がある。（過熱防止のため）この場合は、約5分間放置すると正常に復帰する。

回路図

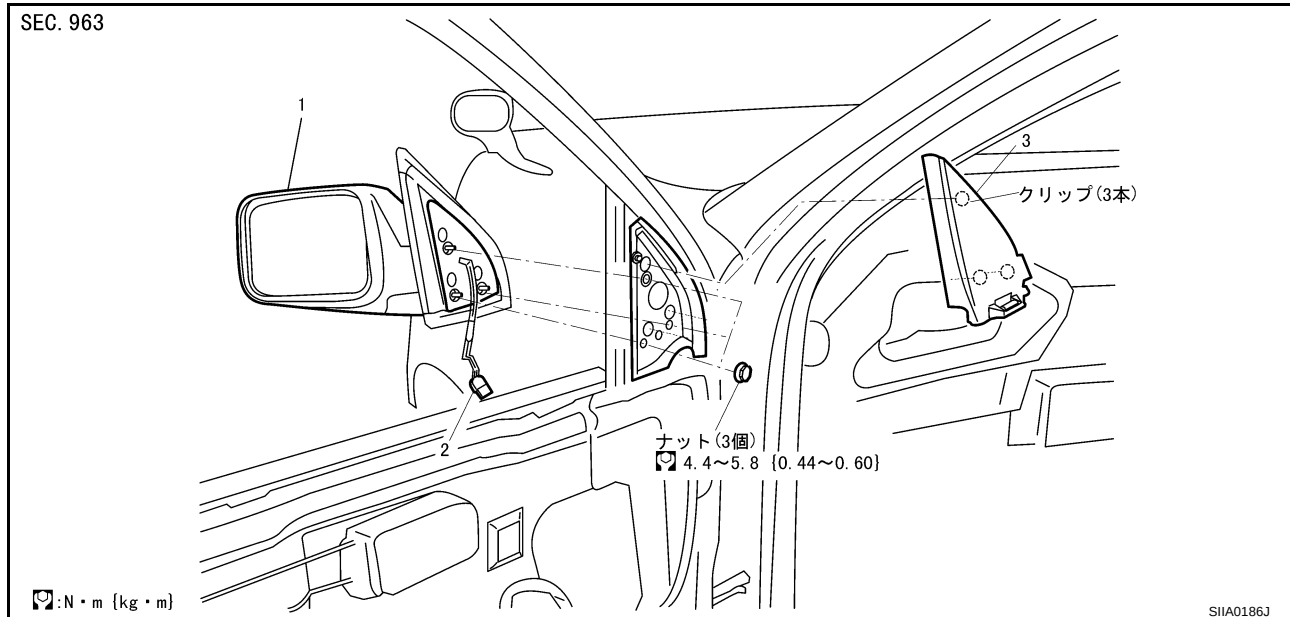
JIS00196



取り外し、取り付け

JIS00197

SEC. 963



取り外し

注意: ミラー本体を傷つけぬよう注意すること。

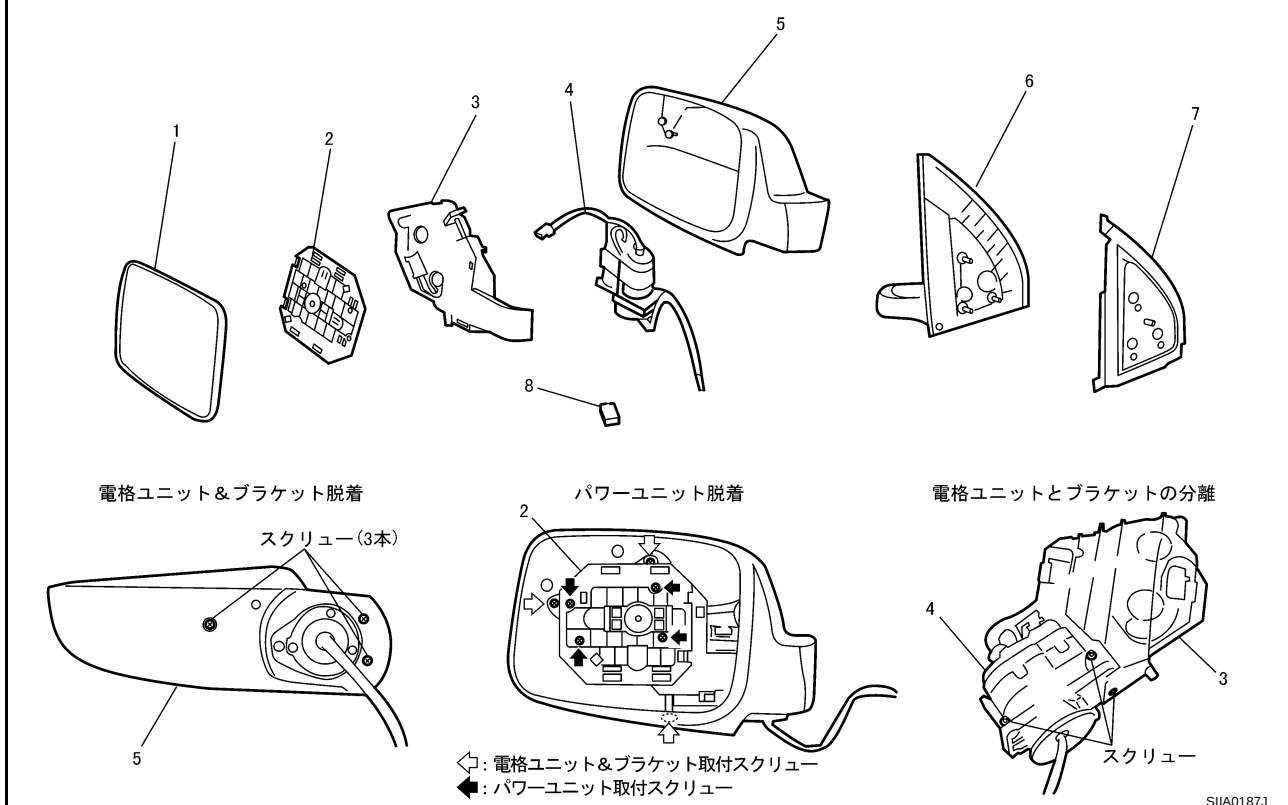
1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-24 ページ) を参照。
2. コーナーカバーを取り外す。
3. ドアミラーハーネスのコネクターを外す。
4. ドアミラー取り付けナットを外し、ドアミラー ASSY を外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

分解、組み立て

SEC. 963



- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. ミラーボディー | 2. パワーユニット | 3. ブラケット |
| 4. 電格ユニット | 5.ハウジング | 6. ベース |
| 7. パッキン | 8. コネクター | |

分解

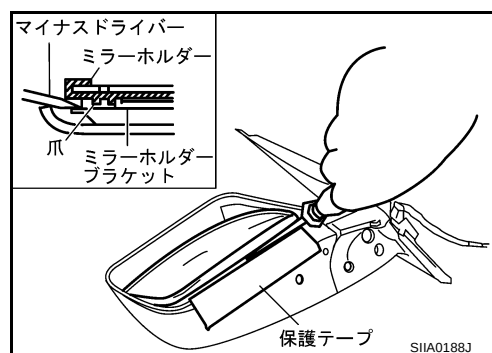
- ハーネスのコネクターから端子をすべて抜く。
注意: コネクターの端子配列をあらかじめメモしてから端子を抜く。

- 鏡面ガラスを上面向ける。

- ハウジングに保護テープを貼る。

- 図のように、鏡面(ミラーボディー)とパワーユニットとの間の凹部に細めのマイナスドライバー等を差し込み、ミラーホルダーの爪(2箇所)を押し上げてミラーホルダー下側を外し、ミラーボディー ASSY を取り外す。

注意: 爪を押し上げるときは、無理に 1 箇所の凹部だけで押し上げようとせず、必ず 2 箇所の凹部を使用して押し上げること。



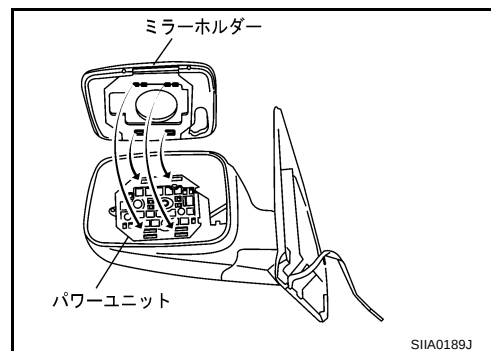
- パッキンを取り外す。
- ベースを取り外す。
- 電格ユニットを取り外す。
- パワーユニットを外し、コネクターを取り外す。
- 電格ユニットからブラケットを分離する。

組み立て

1. 電格ユニットにブラケットを取り付ける。
2. パワーユニットにコネクターを接続し、電格ユニット（ブラケット）に取り付ける。
3. 電格ユニット及びベースをハウジングに取り付ける。
4. パワーユニットとミラーボディー ASSY を水平にする。

5. 鏡面（ミラーホルダー）の上側の爪を先にパワーユニットに取り付け、その後鏡面の下側をパチンと音が鳴るまで押し、下側の爪をかん合させる。

注意：組み立て後、鏡面下側を覗き、下側の爪（2箇所）が確実にかん合しているか確認する。

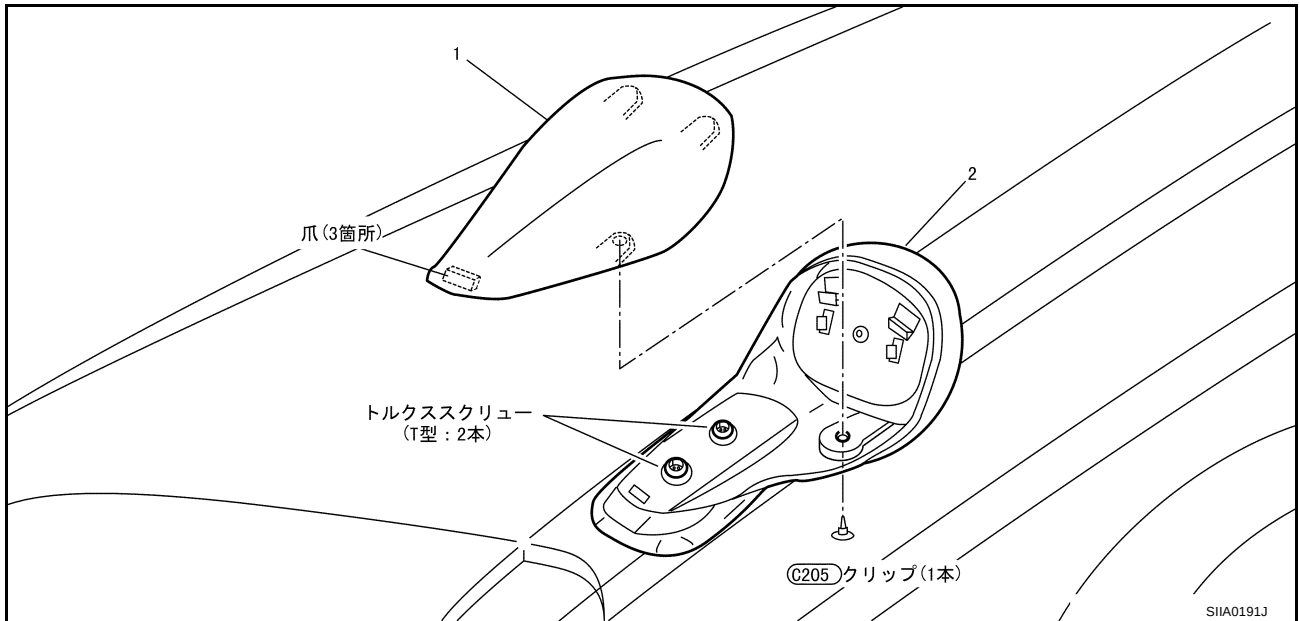


6. パッキンをベースに取り付ける。
 7. コネクターにハーネスの端子を差し込む。
- 注意：**ハーネスの端子は配列を間違えないように確実にコネクターに差し込むこと。

サイドアンダーミラー 取り外し、取り付け

PFP:96331

JIS00199



1. サイドアンダーミラーカバー

2. サイドアンダーミラー

取り外し

1. サイドアンダーミラー下部のクリップを外す。
2. カバー前側を上方向に引き、爪を外してから車両前方に引いてカバーを取り外す。
3. トルクスクリューをT型トルクスドライバー（T30）を使用して外し、サイドアンダーミラーを取り外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

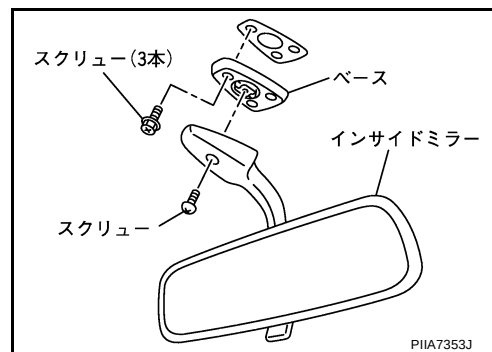
インサイドミラー 取り外し、取り付け

PPF:96321

JIS0063K

取り外し

1. インサイドミラーASSY 取付スクリューを外し、インサイドミラーASSY を取り外す。
2. ミラーベース取付スクリューを外し、ミラーベースを取り外す。



取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。